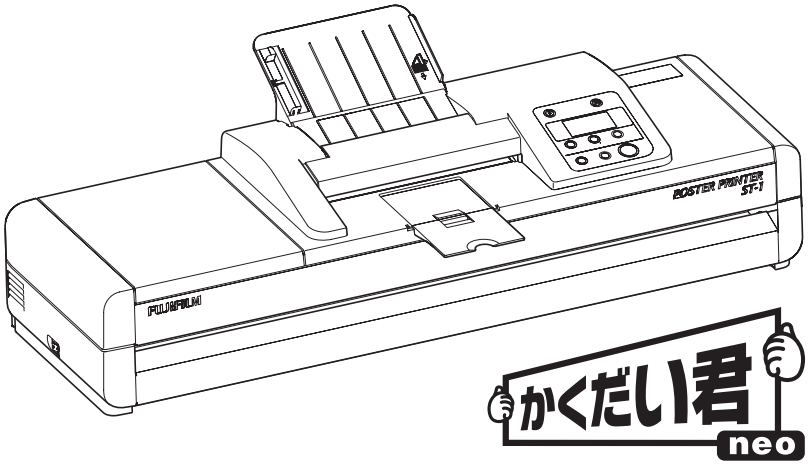
FUJIFILM

取扱説明書

POSTER PRINTER ST-1

プリンタドライバ



for Windows XP(32/64bit)/Vista(32/64bit)/
7(32/64bit)/8(32/64bit)

第１版
SP0202

ご 注 意

ソフトウェア使用約款

富士フイルムビジネスサプライ株式会社（以下、当社）と本製品をご購入いただいたお客様（以下、お客様）は、下記条項のソフトウェア使用約款を締結させていただきます。

1. プリンタドライバソフトウェアはお客様自身にかぎり使用することができ、お客様以外の第三者が使用することはできません。
2. プリンタドライバソフトウェアをバックアップ保有の目的以外で複写することはできません。
3. プリンタドライバソフトウェアの内容の全部または一部を改変することはできません。
4. プリンタドライバソフトウェアが購入時に正常に動作しない場合、あるいは梱包内容に不足があった場合には購入された販売店あるいは当社までご連絡ください。無償で交換致します。
5. お客様がプリンタドライバソフトウェアを運用された結果生じたデータの破損、その他の破損については当社は責任を負いません。
6. 本約款は、お客様がプリンタドライバソフトウェアを受領した日から成立します。
7. 本約款に定めていない事項は著作権法および関連法規に従うものとします。

---

1. 富士フイルムビジネスサプライ（株）は、このマニュアルおよびプリンタドライバソフトウェアの品質、性能、商品価値または特定の使用目的に対する適合性に関して、いかなる保証も行ないません。
2. 富士フイルムビジネスサプライ（株）は、このマニュアルおよびプリンタドライバソフトウェアの運用した結果について、一切責任を負いません。
3. このマニュアルに記載されている事項、およびプリンタドライバソフトウェアは将来予告なしで変更することがあります。

版権

このマニュアル、およびプリンタドライバソウトウェアの版権は富士フイルムビジネスサプライ（株）が所有します。これらの一部、あるいは全部を無断で使用、複製することはできません。

商標の表示

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright© FUJIFILM BUSINESS SUPPLY CO., LTD.
2013 All rights reserved.

目　次

第一章　はじめに 1
ようこそ 1
システム構成と動作環境 1
本取扱説明書の表記法 1
第二章　インストール 2
1. インストールの準備 2
2. プラグアンドプレイ（PnP）でのインストール 4
2.1　プリンタドライバのインストール（Windows XP） 4
2.2　プリンタドライバのインストール（Windows Vista / 7） 10
2.3　プリンタドライバのインストール（Windows 8） 16
3. プリンタドライバのみのインストール 21
3.1　プリンタドライバのインストール（Windows XP） 21
3.2　プリンタドライバのインストール（Windows Vista / 7） 26
3.3　プリンタドライバのインストール（Windows 8） 30
4. ネットワークプリンタとしてのインストール 35
4.1　プリンタドライバのインストール（Windows XP） 35
4.2　プリンタドライバのインストール（Windows Vista / 7） 42
4.3　プリンタドライバのインストール（Windows 8） 47
第三章　プリンタドライバリファレンス 53
1. プリンタドライバの設定 53
2. プロパティダイアログ 55
■ 用紙 55
■ カット位置と紙送りの関係 57
■ 用紙サイズ一覧の編集 58
■ ユーザ定義サイズ 59
■ グラフィックス 61
■ オプション 62

第四章　操作方法 63
■ プリンタドライバソフトウェアとは 63
■ プリンタドライバの特徴 63
■ アプリケーションソフトウェアの選択 64
■ ユーザ定義サイズの登録 64
1. 定型用紙へのプリント方法 65
■ Microsoft Excel 2010 での操作例 67
2. ユーザー定義サイズ用紙へのプリント方法 71
■ Microsoft Excel 2010 での操作例 73
第五章　トラブル 79
1. プリント中のトラブル 79

第一章　はじめに

ようこそ

このたびは POSTER PRINTER シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本製品により POSTER PRINTER ST-1（以降 ST-1 と表記）をお手持ちの Windows パソコンの大サイズプリンタとしてご利用いただけます。はじめてパソコンをご使用になられる場合には、パソコンに付属にしているマニュアルなどをお読みになって、基本操作や用語をご理解ください。

システム構成と動作環境

本製品を使用するために必要なシステム環境を次に示します。インストールを始める前に確認してください。

- OS：Windows XP(32/64bit) / Vista(32/64bit) / 7(32/64bit) / 8(32/64bit)
- CPU：Pentium プロセッサ 1GHz 以上
- メモリ：512MB 以上
- HDD：100MB 以上の空き容量

本取扱説明書の表記法

- ダイアログボックス内のボタンや名称は「OK」、「ファイル名」のように「」で囲んで表記します。
- メニュー名やメニューコマンドは【ファイル】、【プリンタの設定】のように【】で囲んで表記します。
- 「注意」していただきたいことがある場合は項目の先頭に

を表示します。
- 操作上で「参考」になることや「ヒント」がある場合に項目の先頭にヒントを表示します。

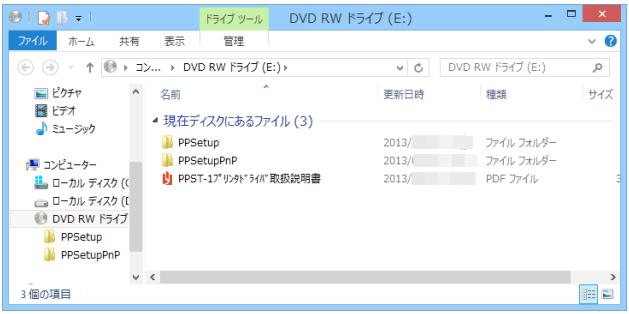
第二章　インストール

1. インストールの準備

ST-1 と Windows が導入されているパソコンを接続することにより、大きなサイズのプリントを得ることができます。しかし、そのためにはプリンタドライバを Windows システムにインストールする必要があります。
本章では、ドライバのインストールについて説明します。プリントを行うには、プリンタドライバのインストールが完了している必要がありますので、本書をよくお読みいただき、正しくインストールを行ってください。

注意
本書記載の画面表示例は、お使いの PC の Windows 設定 によって異なる場合があります。Windows OS の設定状態については、お使いの PC の管理者におたずねください。

ST-1 のプリンタドライバは、付属のプリンタドライバ CD-ROM に格納されています。インストール前に CD-ROM を準備してください。CD-ROM 内のファイル構成は以下のとおりです（以下の表示例は、Windows 8 です）。



［PPSetupPnP］フォルダー：
プラグアンドプレイ用インストールプログラム

- [PPDRV]　：32bit OS 用ドライバ・フォルダー
- [PPDRV64]　：64bit OS 用ドライバ・フォルダー
- PPSetupPnP ：インストールプログラム

［PPSetup］フォルダー：
LAN ネットワーク用インストール／ドライバのみのインストールプログラム

- [PPDRV]　：32bit OS 用ドライバ・フォルダー
- [PPDRV64]　：64bit OS 用ドライバ・フォルダー
- PPSetup　：インストールプログラム

PPST-1 プリンタドライバ取扱説明書：本書（PDF ファイル）

［PPSetupPnP］フォルダーおよび［PPSetup］フォルダーには、それぞれ 32bit OS 用フォルダー、64bit OS 用フォルダー、およびインストールプログラムが格納されています。

プリンタドライバのインストールは、USB インターフェースで ST-1 を接続して、プラグアンドプレイ（PnP）でインストールする場合、ST-1 を接続せずにプリンタドライバのみをインストールする場合、および LAN ネットワークを経由して共有する場合では異なります。それぞれのインストール方法は、以下を参照してください。

プラグアンドプレイ (PnP) でのインストール：

- Windows XP → P4「プリンタドライバのインストール（Windows XP）」
- Windows Vista/7 → P10「プリンタドライバのインストール（Windows Vist/7）」
- Windows 8 → P16「プリンタドライバのインストール（Windows 8）」

プリンタドライバのみのインストール：

- Windows XP → P21「プリンタドライバのインストール（Windows XP）」
- Windows Vista/7 → P26「プリンタドライバのインストール（Windows Vist/7）」
- Windows 8 → P30「プリンタドライバのインストール（Windows 8）」

ネットワークプリンタとしてのインストール：

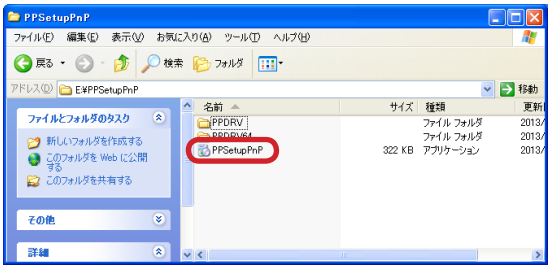
- Windows XP → P35「プリンタドライバのインストール（Windows XP）」
- Windows Vista/7 → P42「プリンタドライバのインストール（Windows Vist/7）」
- Windows 8 → P47「プリンタドライバのインストール（Windows 8）」

2. プラグアンドプレイ（PnP）でのインストール

USB インターフェースを接続して、プリンタドライバをプラグアンドプレイ (PnP) でインストールします。

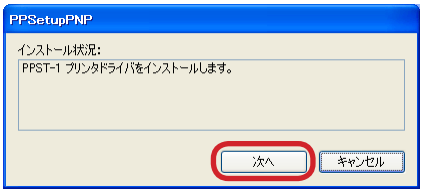
2.1 プリンタドライバのインストール (Windows XP)

1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetupPnP」フォルダの「PPSetupPnP」プログラムをダブルクリックします。



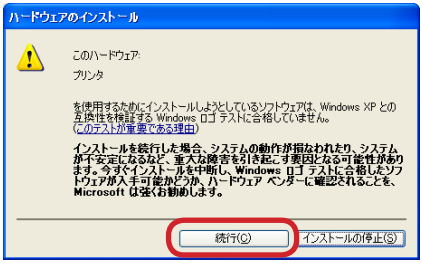
インストールプログラムが起動します。

2 「次へ」ボタンをクリックします。

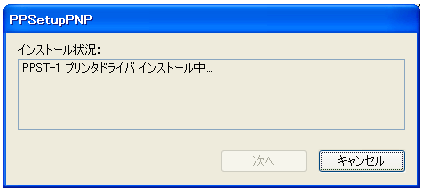


☞ヒント
この時点では、まだ USB ケーブルを接続しないでください。

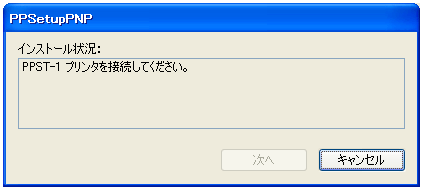
3 インストールが開始され、「ハードウェアのインストール」ダイアログが表示されたら、「続行」ボタンをクリックします。

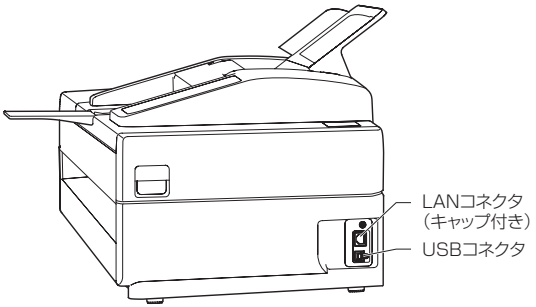


インストール中のメッセージが表示されます。

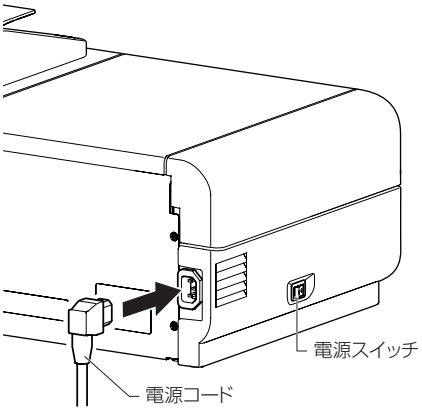


4 しばらくして、プリンタ接続を促すメッセージが表示されたら、ST-1 の USB コネクタと P C 間を USB ケーブルで接続します。



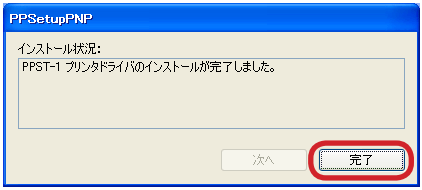


5 プリンタの電源を入れます。

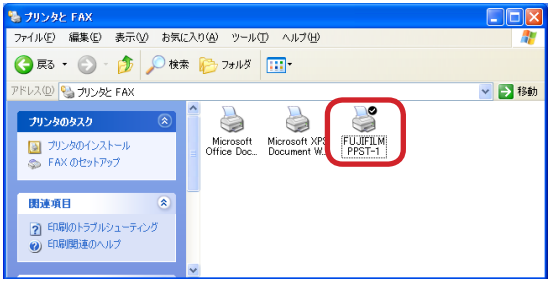


☞ヒント
電源コードが ST-1 本体およびコンセントに接続されていることを確認してください。

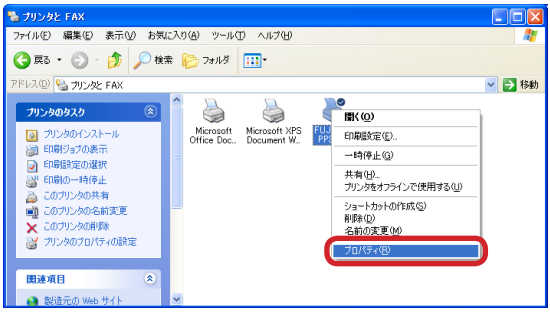
6 インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックしてインストールプログラムを終了します。



7 「プリンタと FAX」画面で、ST-1 ドライバが正常にインストールされていることを確認します。

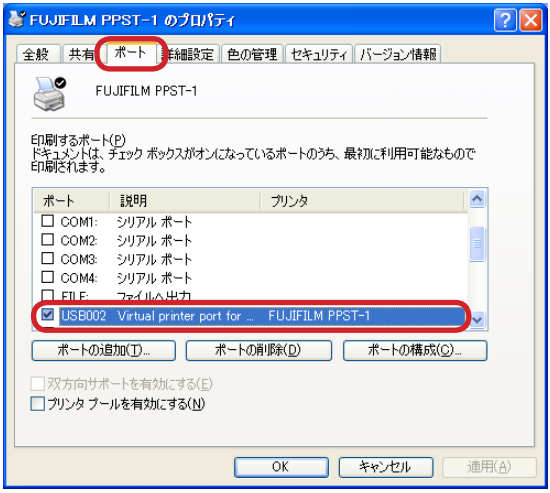


8 「FUJIFILM PPST-1 プリンタ」を右クリックし、メニューから【プロパティ】を選択します。

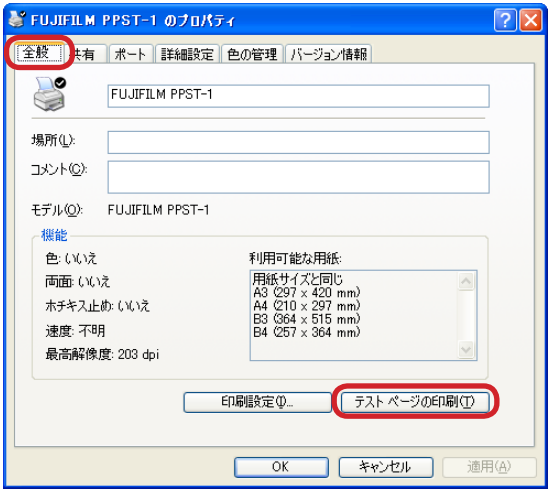


☞ヒント
「プリンタと FAX」画面の表示は、【スタート】－【プリンタと FAX】、または【スタート】－【コントロールパネル】－【プリンタとその他のハードウェア】－【プリンタと FAX】の順にクリックします。

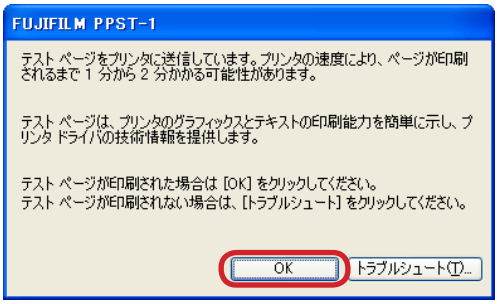
9 「FUJIFILM PPST-1 のプロパティ」画面の「ポート」タブを選択して、ポートが「USB」に設定されていることを確認します。



10 「全般」タブを選択して、「テストページの印刷」ボタンをクリックします。



11 「OK」ボタンをクリックします。



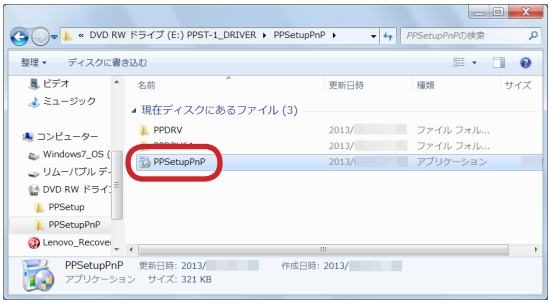
テストページが印刷されます。

12 「PPST-1 のプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックして、「PPST-1 のプロパティ」を閉じます。

以上で、インストールは完了です。

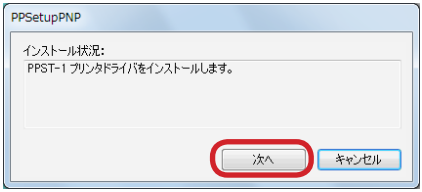
2.2 プリンタドライバのインストール (Windows Vista / 7)

1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetupPnP」フォルダの「PPSetupPnP」プログラムをダブルクリックします。



インストールプログラムが起動します。

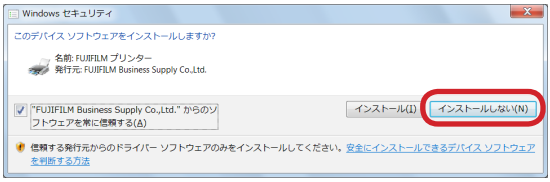
2 「次へ」ボタンをクリックします。



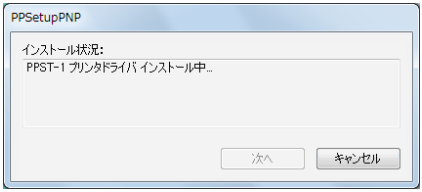
☞ヒント
この時点では、まだ USB ケーブルを接続しないでください。

☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

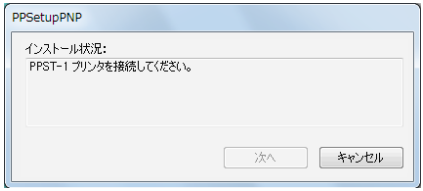
3 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか」のセキュリティダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「”FUJIFILM Business Supply Co.,Ltd.”からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを続行します。

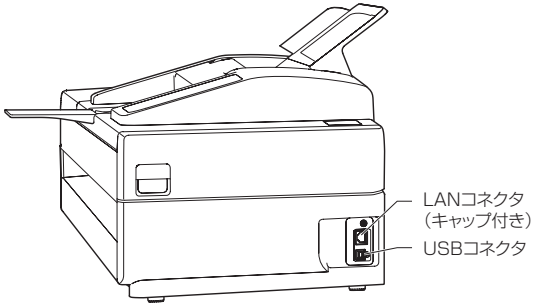


インストール中のメッセージが表示されます。

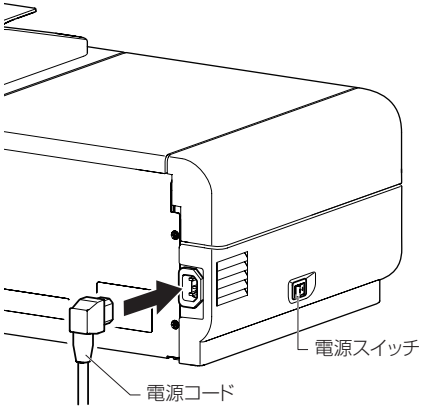


4 しばらくして、プリンタ接続を促すメッセージが表示されたら、ST-1 の USB コネクタと P C 間を USB ケーブルで接続します。



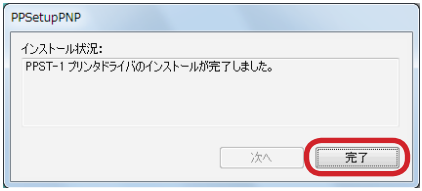


5 プリンタの電源を入れます。



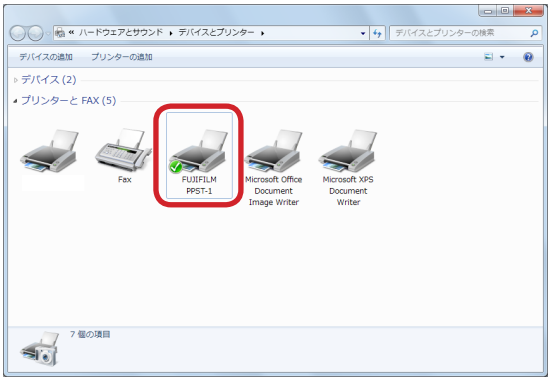
☞ ヒント
電源コードが ST-1 本体およびコンセントに接続されていることを確認してください。

6 インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックして、インストーラーを終了します。



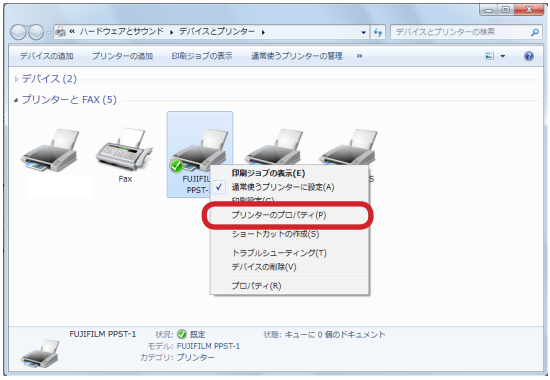
☞ ヒント
「デバイスとプリンタ」画面の表示は、【スタート】－【デバイスとプリンター】の順にクリックします。

7 「デバイスとプリンター」画面で、PPST-1 ドライバが正常にインストールされていることを確認します。



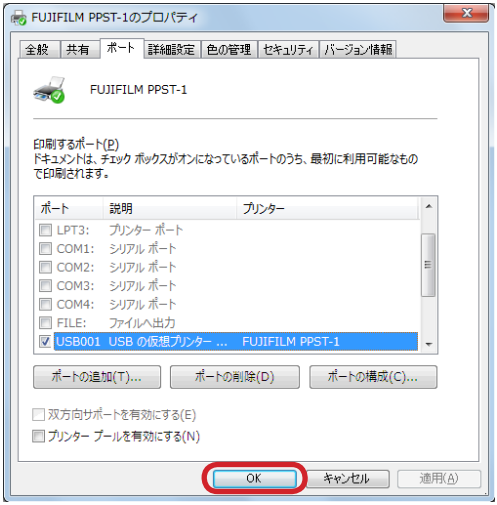
8

PPST-1 プリンタを右クリックし、メニューから【プリンターのプロパティ】を選択します。

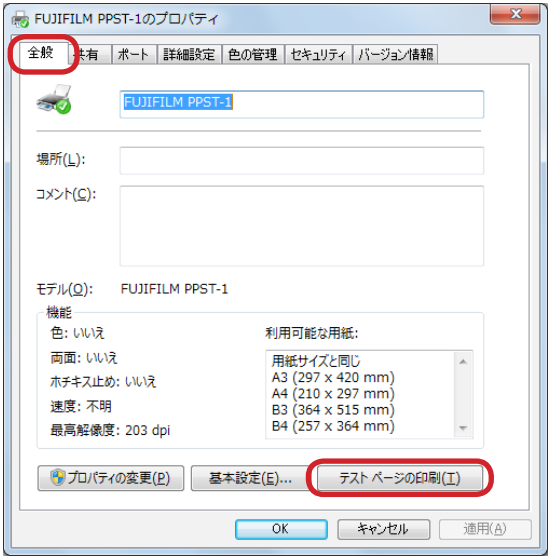


9

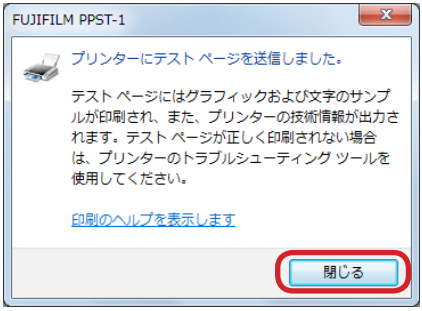
「FUJIFILM PPST-1 のプロパティ」画面の「ポート」タブを選択して、ポートが「USB」に設定されていることを確認します。



10 「全般」タブを選択して、「テストページの印刷」ボタンをクリックします。



11 「閉じる」ボタンをクリックします。



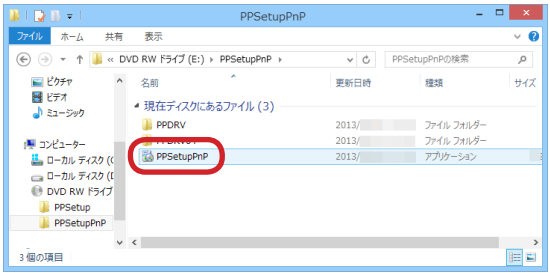
テストページが印刷されます。

12 「FUJIFILM PPST-1 のプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックして、「FUJIFILM PPST-1 のプロパティ」を閉じます。

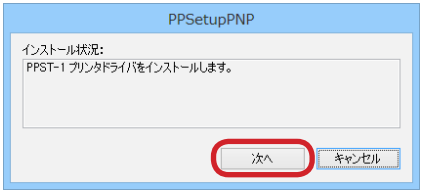
以上で、インストールは完了です。

2.3 プリンタドライバのインストール（Windows 8）

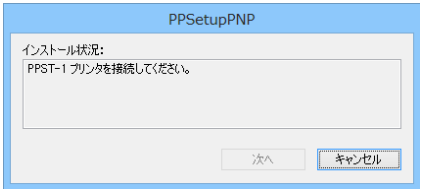
1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetupPnP」フォルダの「PPSetupPnP」プログラムをダブルクリックします。



インストールプログラムが起動します。
「次へ」ボタンをクリックします。

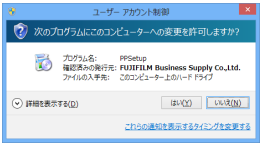


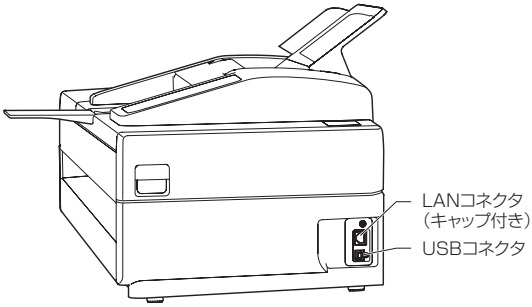
2 しばらくして、プリンタ接続を促すメッセージが表示されたら、ST-1 の USB コネクタと P C 間を USB ケーブルで接続します。



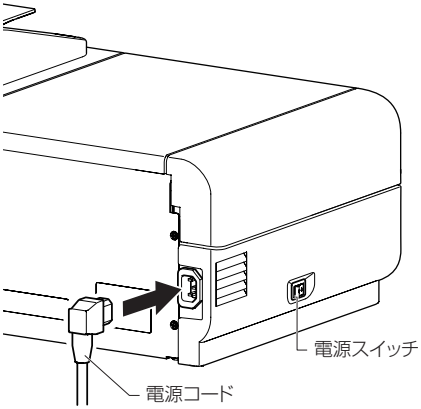
☞ヒント
この時点では、まだ USB ケーブルを接続しないでください。

☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



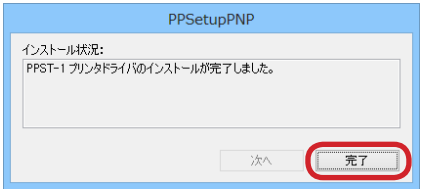


3 プリンタの電源を入れます。



☞ヒント
電源コードが ST-1 本体およびコンセントに接続されていることを確認してください。

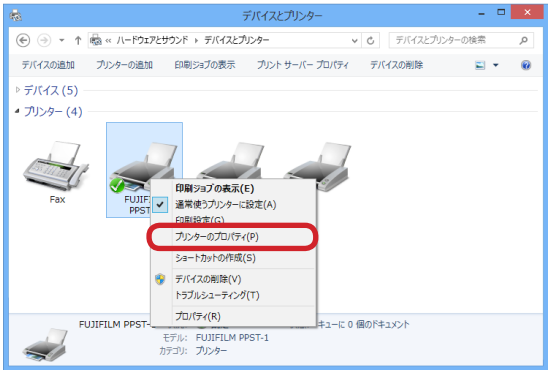
4 インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了」ボタンをクリックして、インストーラーを終了します。



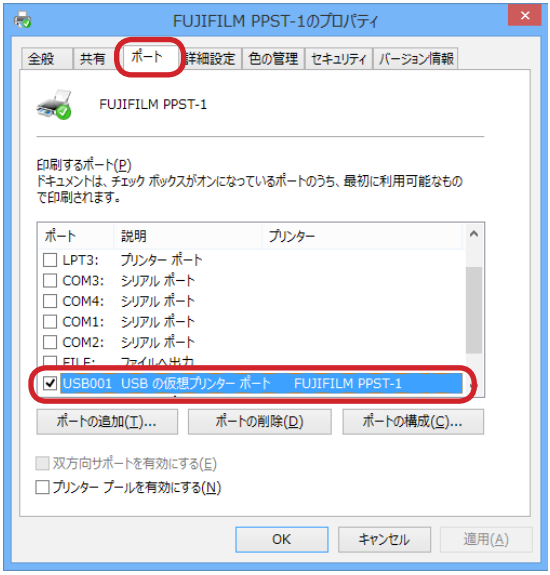
☞ヒント
「デバイスとプリンター」画面の表示は、「Windows」キーと「X」キーを同時に押して、表示されたメニューから「コントロールパネル」→「デバイスとプリンター」の表示」の順にクリックします。また、マウスで画面右上隅をポイントして、検索ボックスに「デバイスとプリンター」を入力→設定をクリックし、表示された「デバイスとプリンター」をクリックすることでも表示させることができます。

5 「デバイスとプリンター」画面で、PPST-1 ドライバが正常にインストールされていることを確認します。

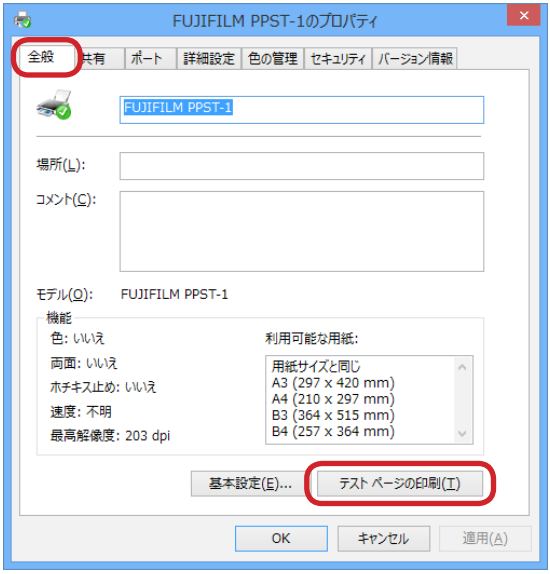
6 PPST-1 プリンタを右クリックし、メニューから【プリンターのプロパティ】を選択します。



7 「FUJIFILM PPST-1 のプロパティ」画面の「ポート」タブを選択して、ポートが「USB」に設定されていることを確認します。

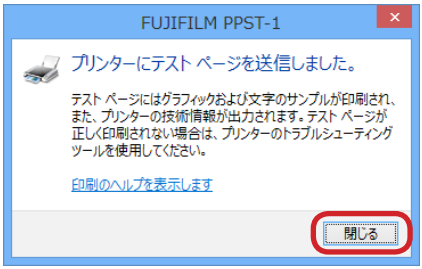


8 「全般」タブを選択して、「テストページの印刷」ボタンをクリックします。



テストページが印刷されます。

9 「閉じる」ボタンをクリックします。



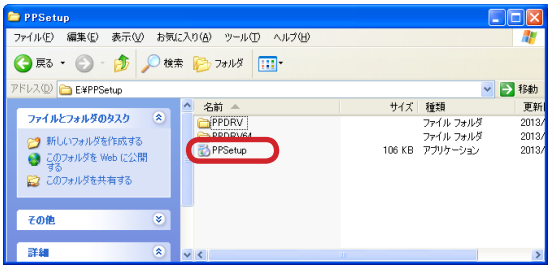
10 「PPST-1 のプロパティ」画面の「OK」ボタンをクリックして、「PPST-1 のプロパティ」を閉じます。
以上で、インストールは完了です。

3. プリンタドライバのみのインストール

ST-1 を接続していない状態で、プリンタドライバのみをインストールします。

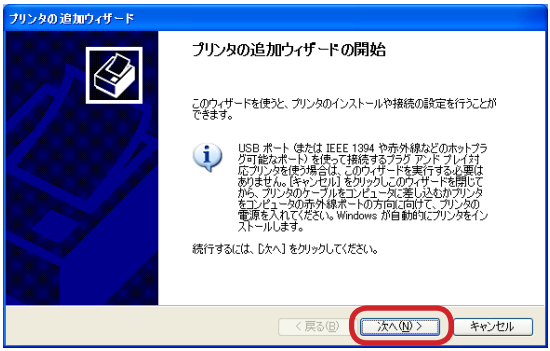
3.1 プリンタドライバのインストール (Windows XP)

1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。

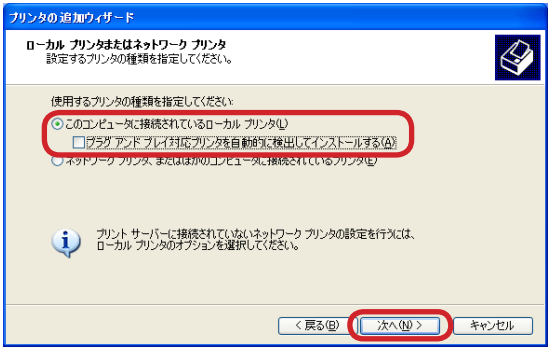


インストールプログラムが起動します。

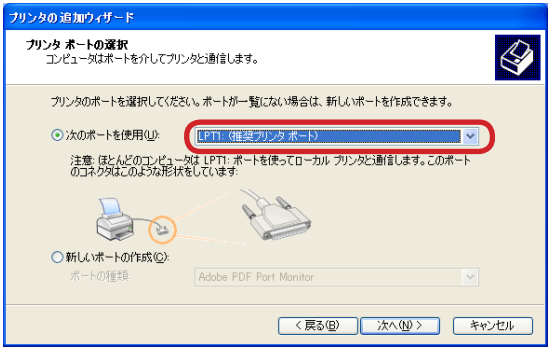
2 「次へ」ボタンをクリックします。



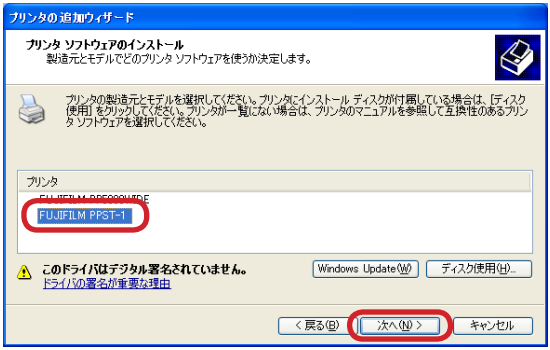
3 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックします。



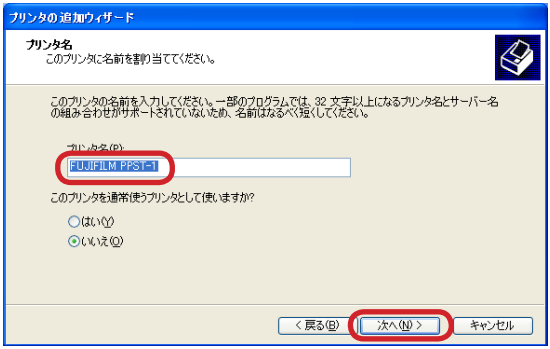
4 プリンタを接続するポートを選択します。
「LPT1:（推奨プリンタポート）」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



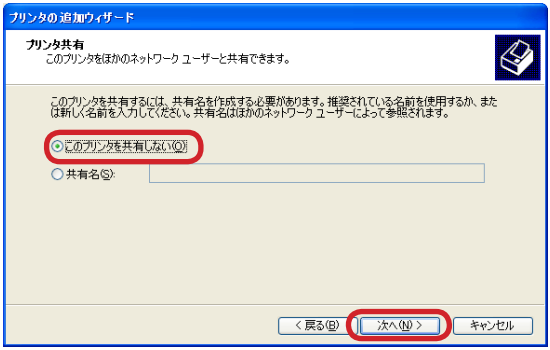
5 プリンタを選択します。
ご使用になるプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。



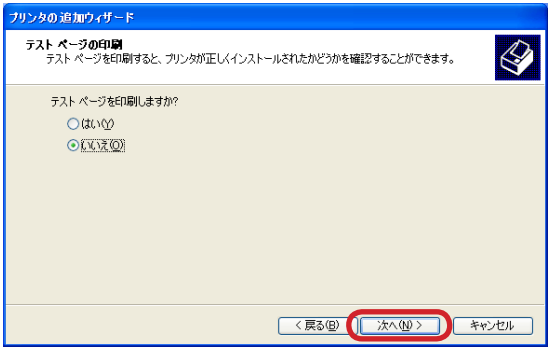
6 プリンタの表示名を変更することができます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。



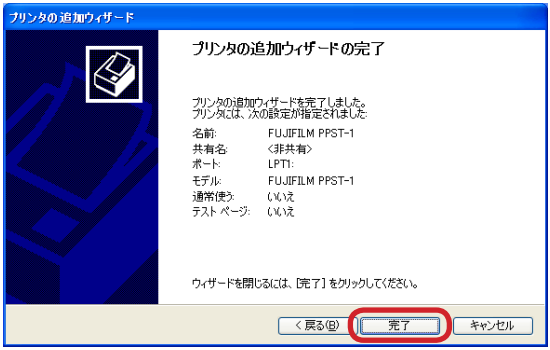
7 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



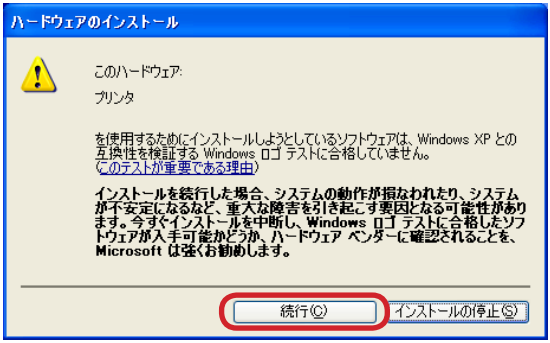
8 「いいえ」をチェックして、「次へ」ボタンをクリックします。



9 設定の確認画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。



10 警告ダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「続行」ボタンをクリックしてインストールを完了します。

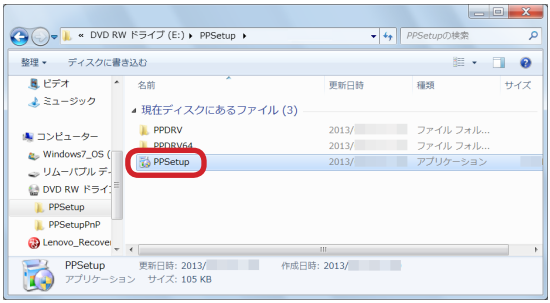


以上で、インストールは完了です。

☞ ヒント
プリンタドライバのみをインストールした後で、ST-1を接続した際は、プリンタドライバのプリンタポートを再設定してください。

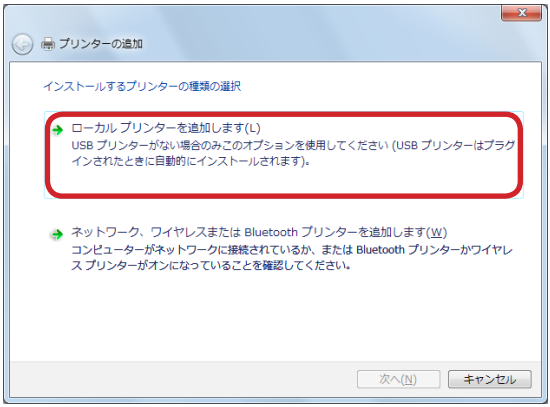
3.2 プリンタドライバのインストール (Windows Vista / 7)

1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。



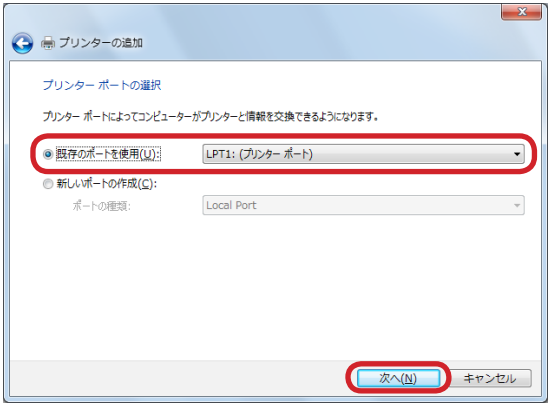
インストールプログラムが起動します。

2 「ローカルプリンターを追加します」をクリックします。

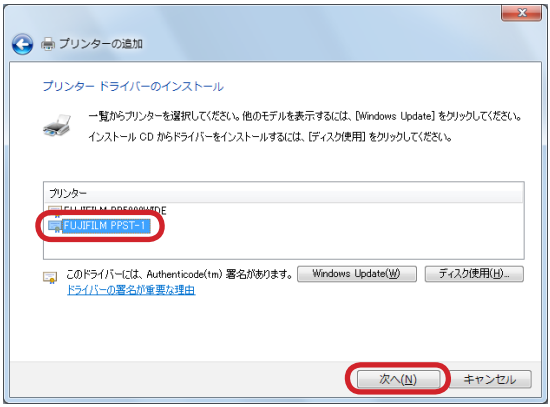


☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」または「続行」をクリックしてインストールを続行してください。

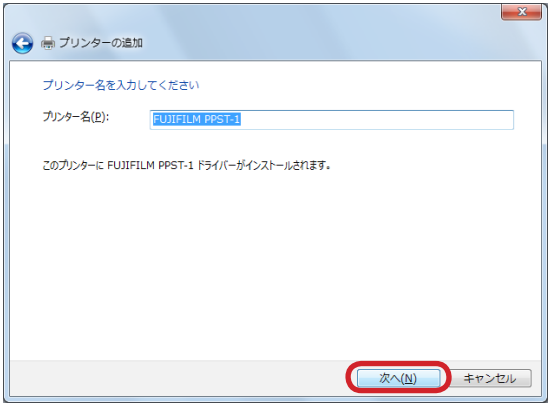
3 プリンタを接続するポートを選択します。
「LPT1:（プリンターポート）」を選択して「次へ」をクリックします。



4 プリンタを選択します。
「FUJIFILM PPST-1」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

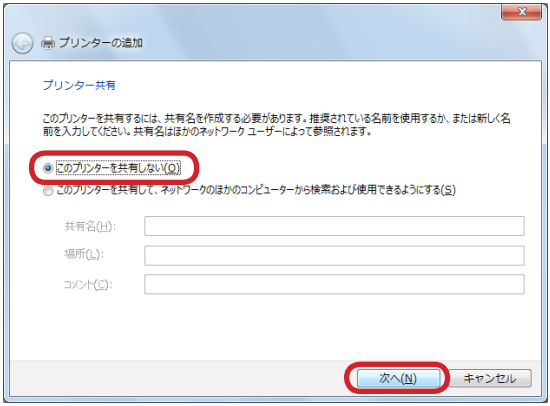


5 プリンタ名の表示名を変更することができます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。

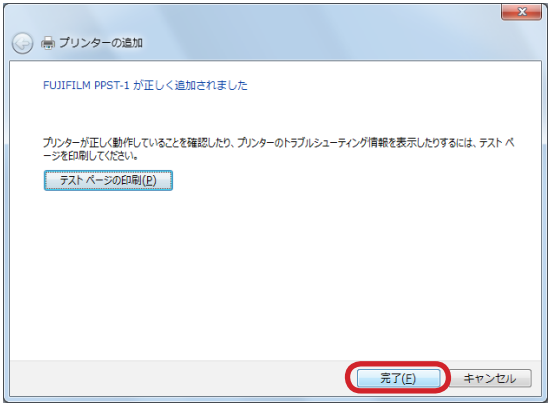


6 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか」のセキュリティダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「” FUJIFILM Business Supply Co.,Ltd.” からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを続行します。

7 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



8 「完了」ボタンをクリックします。

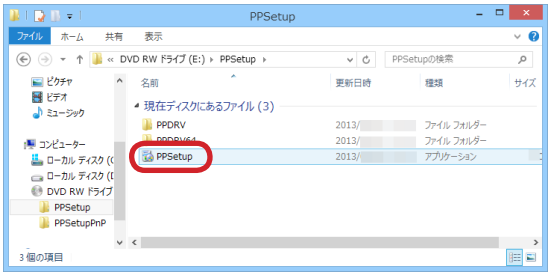


以上で、インストールは完了です。

☞ ヒント
プリンタドライバのみをインストールした後で、ST-1を接続した際は、プリンタドライバのプリンタポートを再設定してください。

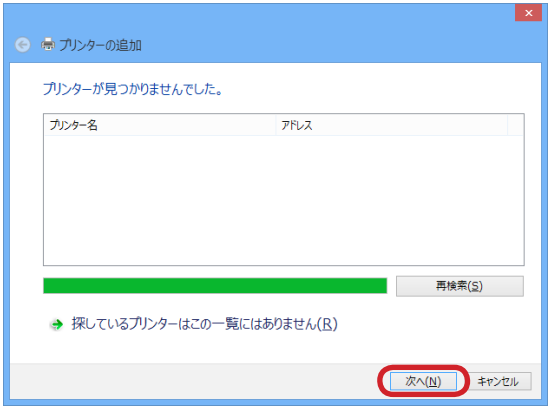
3.3 プリンタドライバのインストール (Windows 8)

1 付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。

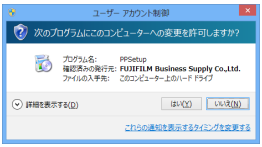


インストールプログラムが起動します。

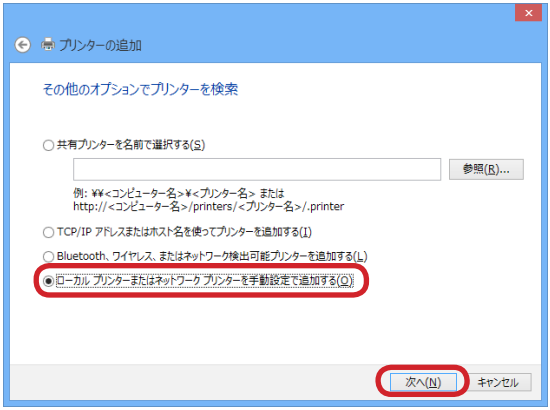
2 「プリンター検索」が開始されますが、そのまま「次へ」ボタンをクリックします。



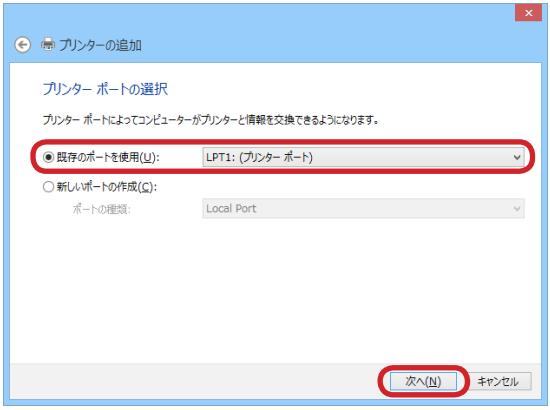
☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



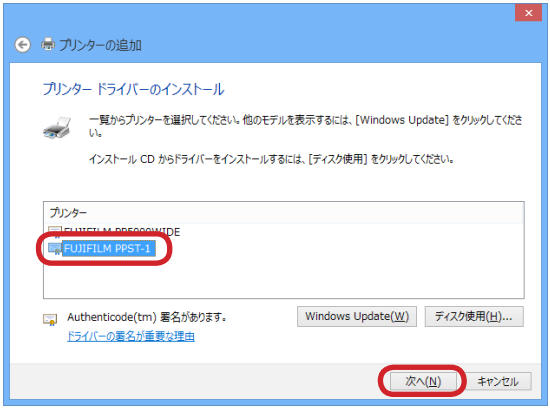
3 「ローカルプリンターの追加」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



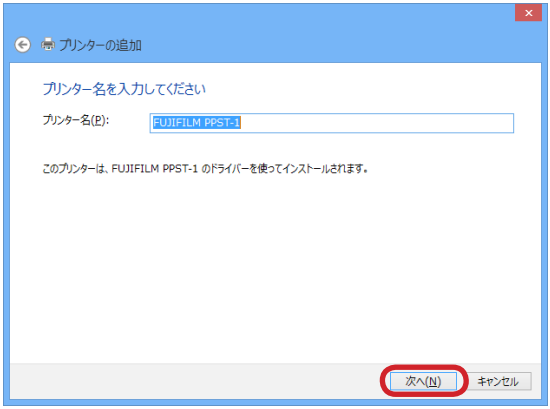
4 プリンタを接続するポートを選択します。
「LPT1:（プリンターポート）」を選択して「次へ」をクリックします。



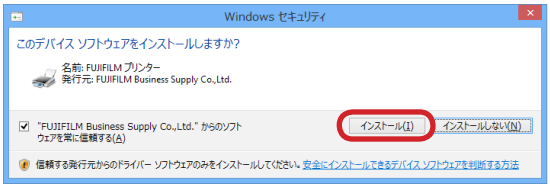
5 プリンタを選択します。
「FUJIFILM PPST-1」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



6 プリンタの表示名を変更することができます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。



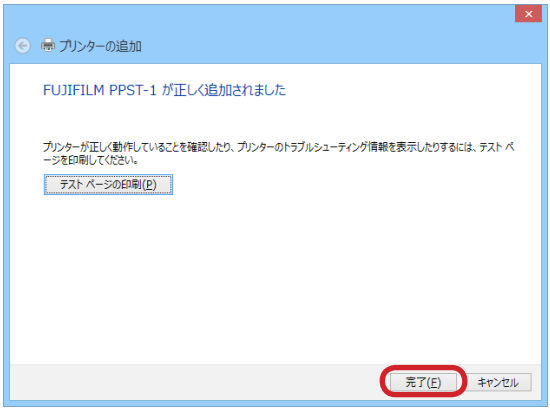
7 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか」のセキュリティダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「”FUJIFILM Business Supply Co.,Ltd.”からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを続行します。



8 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

☞ヒント
プリンタドライバのみをインストールした後で、ST-1を接続した際は、プリンタドライバのプリンタポートを再設定してください。

9 「完了」ボタンをクリックします。



以上で、インストールは完了です。

4. ネットワークプリンタとしてのインストール

LAN ケーブルを接続して、ST-1 をネットワーク経由で使用するため、プリンタドライバをインストールします。

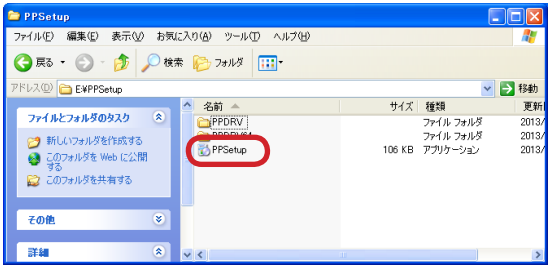
☞ヒント
ST-1 に設定する IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクはあらかじめネットワーク管理者へおたずねの上、決定しておいてください。

ST-1 プリンタドライバを使用する場合は、手動設定を行なってください。
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

4.1 プリンタドライバのインストール (Windows XP)

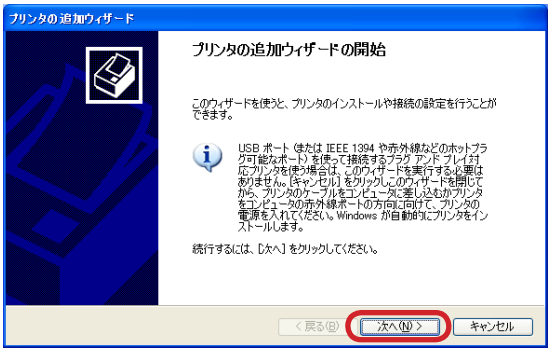
1 **ST-1 のネットワーク設定を行います。**
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

2 **付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。**

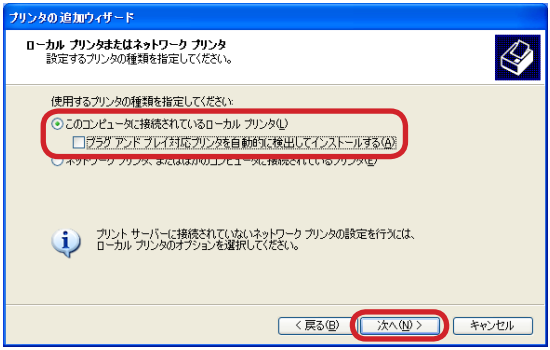


インストールプログラムが起動します。

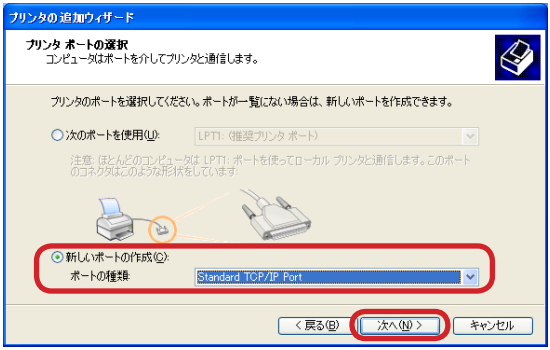
3 **「次へ」ボタンをクリックします。**



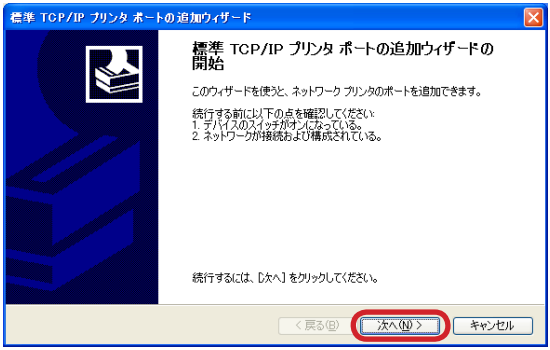
4 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、「次へ」ボタンをクリックします。



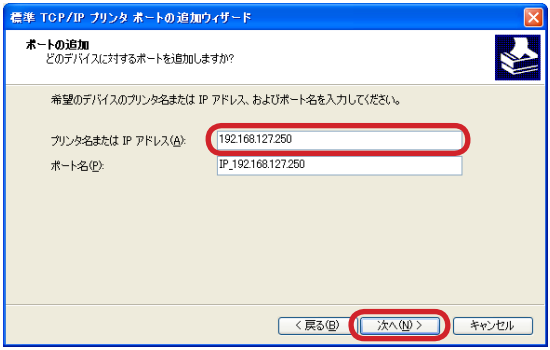
5 プリンタを接続するポートを選択します。「TCP/IP Port」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



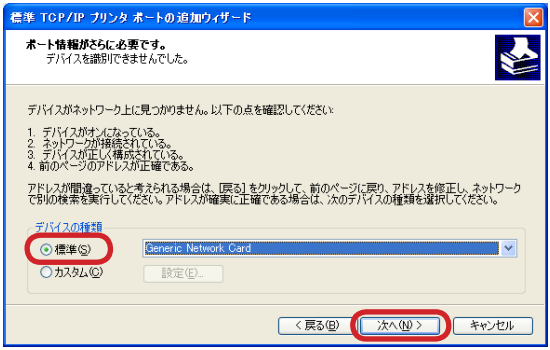
6 【標準 TCP/IP プリンタのポートの追加ウィザード】が起動しますので「次へ」ボタンをクリックします。



7 ST-1 で設定した IP アドレスを入力して、「次へ」ボタンをクリックします。

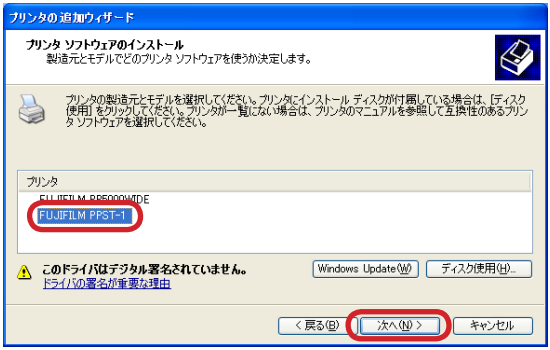


8 デバイスの種類を「標準」（デフォルト）のままで、「次へ」ボタンをクリックします。

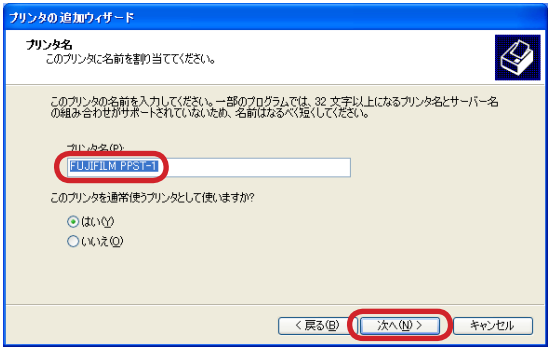


9 設定の確認画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。

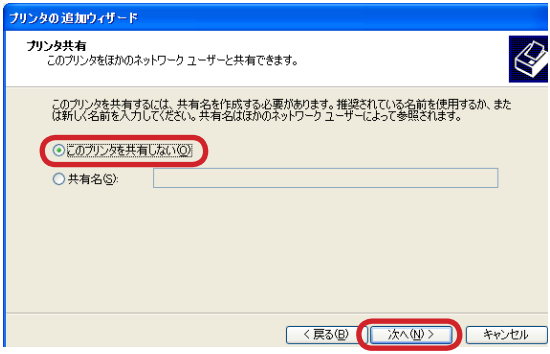
10 プリンタを選択します。
ご使用になるプリンタを選択して「次へ」ボタンをクリックします。



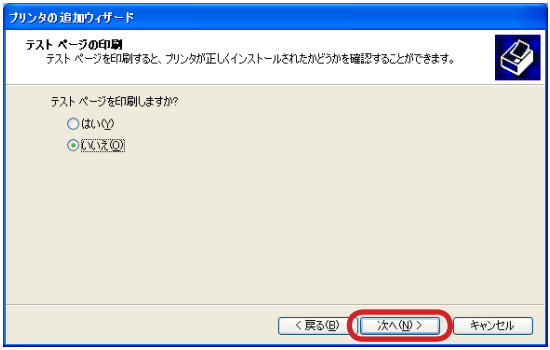
11 プリンタの表示名を変更することができます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。



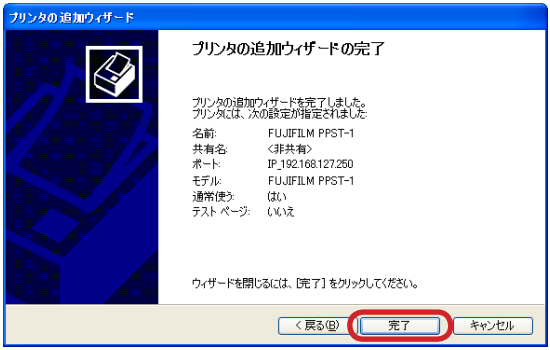
12 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



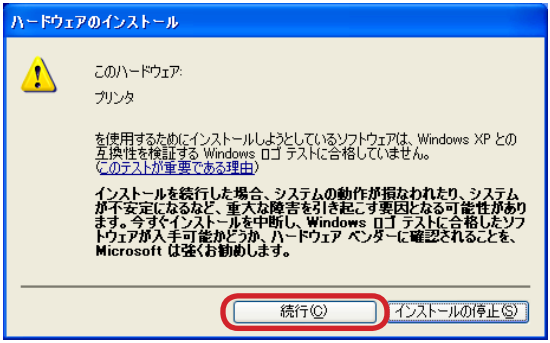
13 テストページを印字することができます。
「はい」をチェックしておけばテストページを印字します。
「次へ」ボタンをクリックします。



14 設定の確認画面が表示されます。
「完了」ボタンをクリックします。



15 警告ダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「続行」ボタンをクリックしてインストールを完了します。



以上で、インストールは完了です。

☞ ヒント
ドライバインストール後のテストページの印刷については、「2.1 プリンタドライバのインストール (Windows XP)」を参照してください。

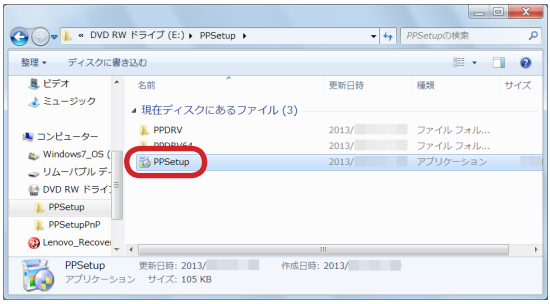
4.2 プリンタドライバのインストール (Windows Vista / 7)

☞ヒント
ST-1 に設定する IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクはあらかじめネットワーク管理者へおたずねの上、決定しておいてください。

ST-1 プリンタドライバを使用する場合は、手動設定を行なってください。
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

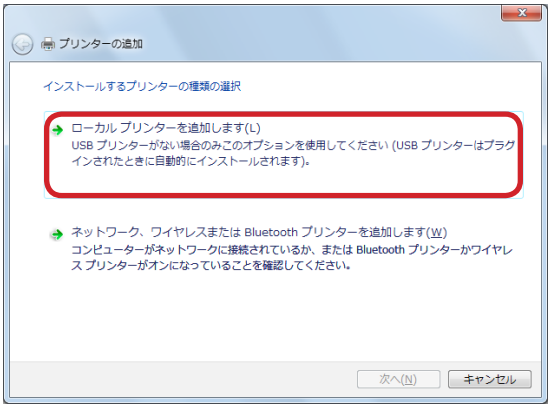
1 **ST-1 のネットワーク設定を行います。**
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

2 **付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。**



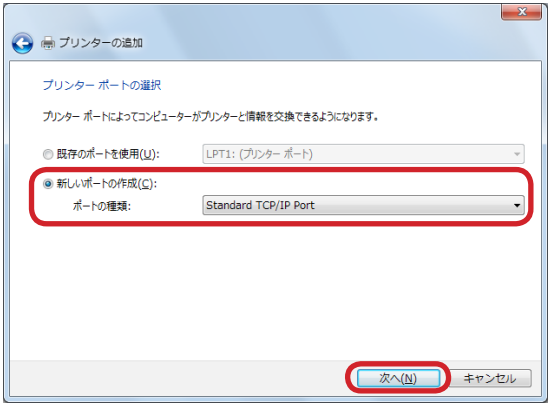
インストールプログラムが起動します。

3 **「ローカルプリンターを追加します」をクリックします。**

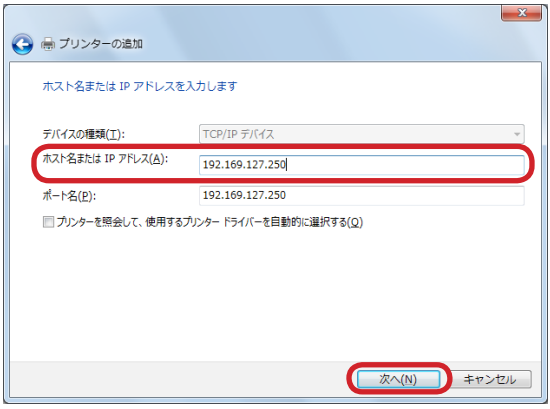


☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」または「続行」をクリックしてインストールを続行してください。

4 プリンタを接続するポートを選択します。
「TCP/IP Port」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

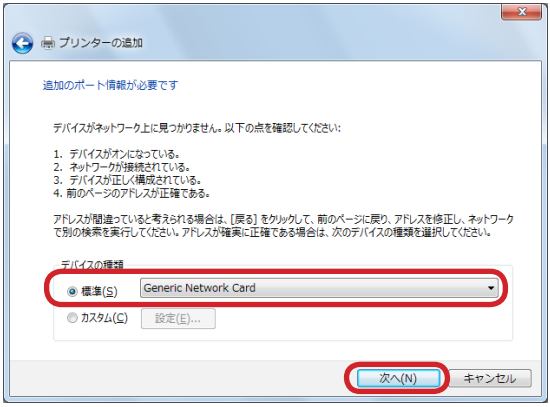


5 ST-1 で設定した IP アドレスを入力し、「プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する」のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。

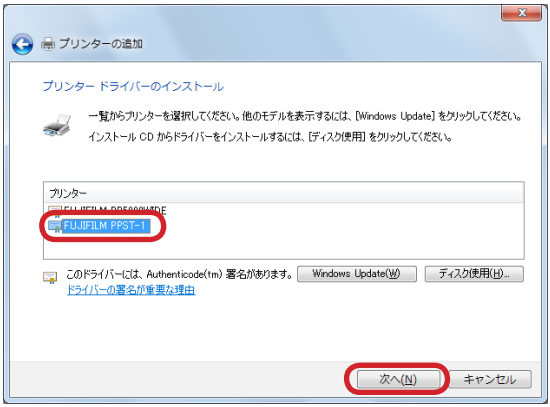


TCP/IP ポートの検出が終了したら、自動的に次のページに進みます。

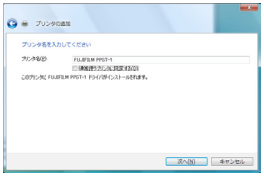
6 デバイスの種類を「標準」（デフォルト）のままで、「次へ」ボタンをクリックします。



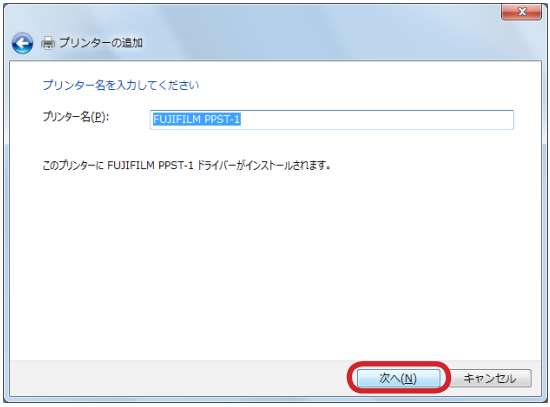
7 プリンタを選択します。「FUJIFILM PPST-1」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



☞ ヒント
Windows Vista の場合は、「通常使うプリンタ」の設定項目があります。

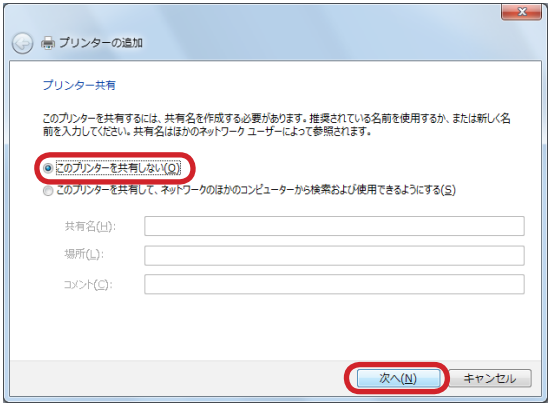


8 プリンタ名の表示名を変更することができます。変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。

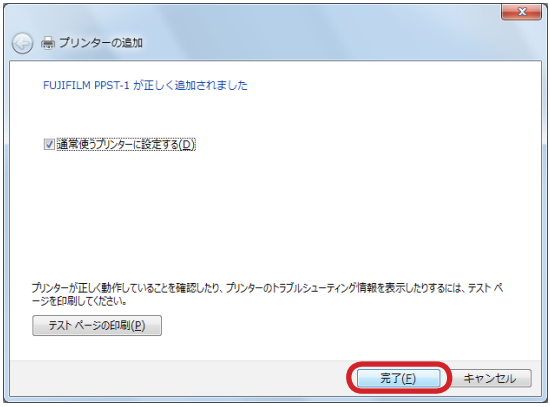


9 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか」のセキュリティダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「”FUJIFILM Business Supply Co.,Ltd.”からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを続行します。

10 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



11 「完了」ボタンをクリックします。



以上で、インストールは完了です。

☞ヒント
Windows 7の場合は、「通常使うプリンタ」の設定項目があります。通常使うプリンターとして設定しない場合は、チェックボックスをクリックして、チェックを外します。

☞ヒント
ドライバインストール後のテストページの印刷については、「2.2 プリンタドライバのインストール(Windows Vista/7)」 を参照してください。

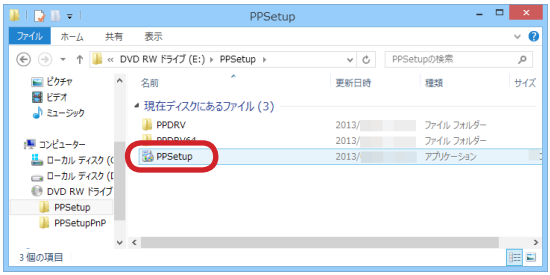
4.3 プリンタドライバのインストール (Windows 8)

☞ヒント
ST-1 に設定する IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクはあらかじめネットワーク管理者へおたずねの上、決定しておいてください。

ST-1 プリンタドライバを使用する場合は、手動設定を行なってください。
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

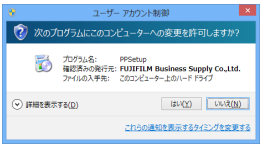
1 **ST-1 のネットワーク設定を行います。**
→「POSTER PRINTER ST-1 取扱説明書」の「ネットワークの設定」を参照してください。

2 **付属のプリンタドライバ CD-ROM をディスクドライブにセットし、CD-ROM 内の「PPsetup」フォルダの「PPSetup」プログラムをダブルクリックします。**

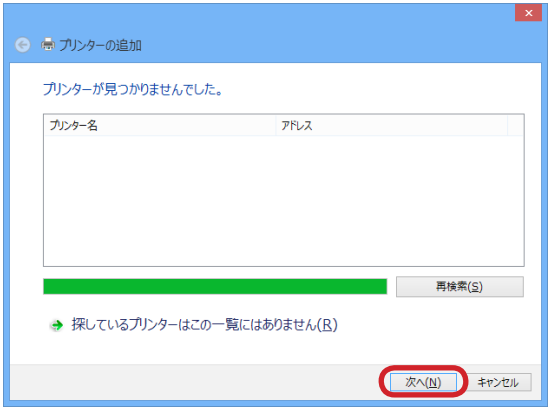


インストールプログラムが起動します。

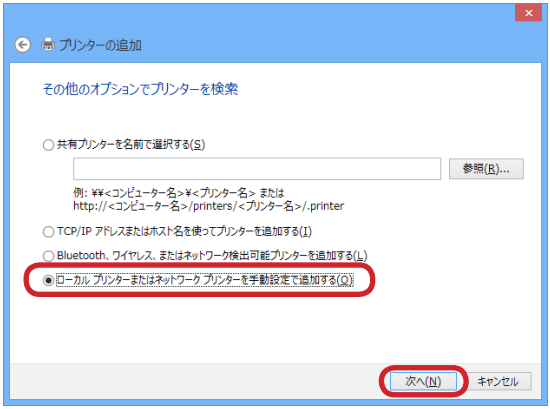
☞ヒント
Windows の設定によっては、ユーザーアカウント制御の画面が表示されることがあります。この場合は「はい」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



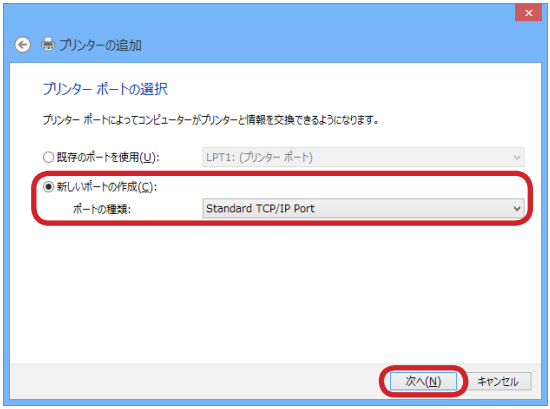
3 「プリンター検索」が開始されますが、そのまま「次へ」ボタンをクリックします。



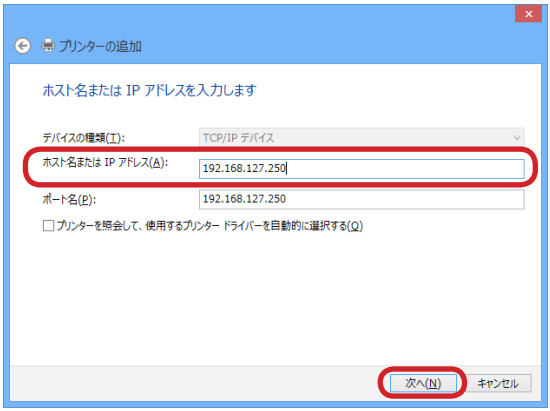
4 「ローカルプリンターの追加」を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



5 プリンタを接続するポートを選択します。
「TCP/IP Port」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



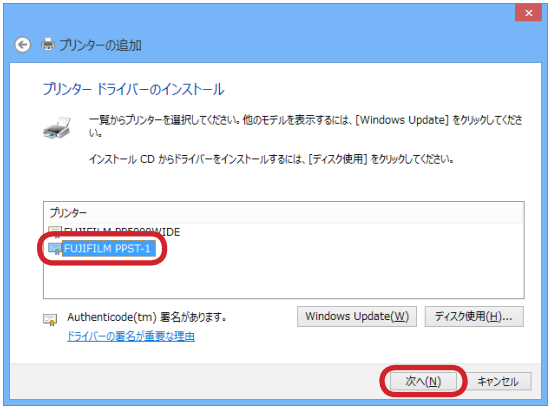
6 ST-1 で設定した IP アドレスを入力し、「プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する」のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックします。



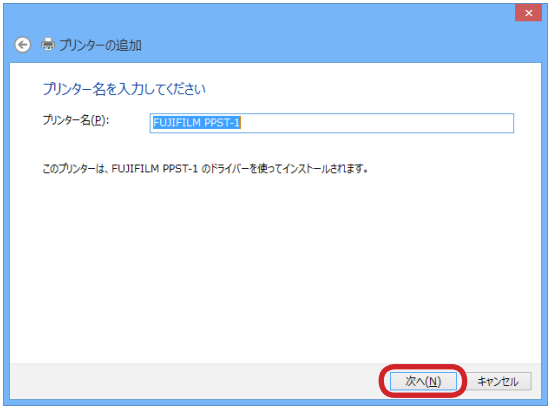
TCP/IP ポートの検出が終了したら、自動的に次のページに進みます。

7 デバイスの種類を「標準」（デフォルト）のままで、「次へ」ボタンをクリックします。

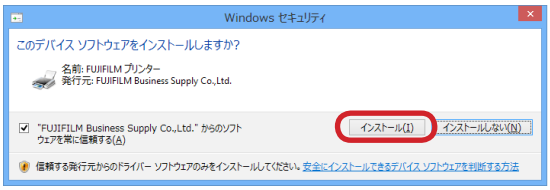
8 プリンタを選択します。「FUJIFILM PPST-1」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



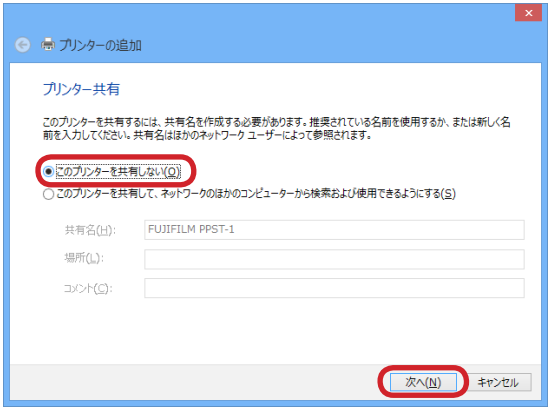
9 プリンタの表示名を変更することができます。
変更の必要がなければそのまま「次へ」ボタンをクリックします。



10 「このデバイスソフトウェアをインストールしますか」のセキュリティダイアログが表示されますが、インストールに問題ありませんので「”FUJIFILM Business Supply Co.,Ltd.”からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを入れて、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを続行します。



11 「共有しない」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。



12 「完了」をクリックします。

以上で、インストールは完了です。

☞ヒント
通常使うプリンターとして設定しない場合は、チェックボックスをクリックして、チェックを外します。

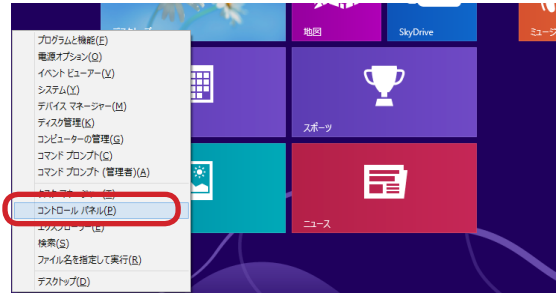
☞ヒント
ドライバインストール後のテストページの印刷については、「2.3 プリンタドライバのインストール(Windows 8)」を参照してください。

第三章　プリンタドライバリファレンス

1. プリンタドライバの設定

ST-1 と Windows が導入されているパソコンを接続することにより、大きなサイズのプリントを得ることができます。ST-1 をパソコンから使用するためには、事前に ST-1 プリンタドライバの印刷設定が必要です。
本章では、Windows 8 での操作を主に説明し、XP/Vista/7 の操作を補足として記載しています。

1 「Windows」キーと「X」キーを同時に押して、表示されたメニューから【コントロールパネル】をクリックします。



Windows 8 では上記操作の他、マウスで画面右上隅をポイントして、検索ボックスに「デバイスとプリンター」を入力→設定をクリックし、表示された「デバイスとプリンター」をクリックすることでも表示させることができます。

2 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

☞ ヒント
Windows XP では、【スタート】－【プリンタと FAX】、または【スタート】－【コントロールパネル】－【プリンタとその他のハードウェア】－【プリンタと FAX】の順にクリックして、「プリンタと FAX」画面を表示します。

Windows Vista/7 では、【スタート】－【デバイスとプリンター】の順にクリックして、「デバイスとプリンター」画面を表示します。

3 プリンタのアイコンを右クリックして【印刷設定】を選択します。

ST-1 のプロパティダイアログボックスが表示されます。

2. プロパティダイアログ

☞ヒント
ST-1 プロパティダイアログボックスの「用紙」タブをクリックします。

■用紙

ST-1 でプリントする用紙の設定を行います。

[記録紙サイズ]
ST-1 にセットされている記録紙のロールサイズを指定します。実際にセットしているロールサイズと一致していないと、期待したプリント結果が得られないことがありますので十分ご注意ください。

[用紙サイズ]
プリントする用紙サイズを指定します。使用できるサイズは指定した記録紙サイズによって異なります。ここで表示される用紙サイズリストへの追加や削除およびユーザ定義サイズの追加などは「編集」ボタンをクリックしてください。

[原稿サイズ]
アプリケーションで使用する用紙のサイズを指定します。用紙サイズと原稿サイズが独立していることにより、プリンタドライバにより自動的に拡大を行うことができます。例えば、用紙サイズを A0、原稿サイズを A4 に指定することができます。これは、アプリケーションによっては、A0 など大サイズを取り扱うことができないものがあるためです。

用紙サイズが定型用紙のときは、[用紙サイズと同じ] かA 4 ,A3 サイズなどの一般的な定型用紙サイズを選択します。用紙サイズがユーザ定義サイズのときは、[(ユーザ定義サイズ名)] か [(ユーザ定義サイズ名) ／5] を選択します。
特にユーザ定義サイズの場合、横断幕などで長い用紙を取り扱うことが多くなりますので、[(ユーザ定義サイズ名) ／5] を使うことによりアプリケーションでのエラーを回避することができる場合があります。

[印刷方向]
用紙の向きを「縦」か「横」で選択します。
ここでいう [印刷方向] はアプリケーションで取り扱う用紙の向きであり、ST-1 でプリントするときはいつも縦方向でプリントされますのでご注意ください。

[ページ間ギャップ]
ここがチェックされていると、複数ページや複数部数をプリントするとき、プリントしたページとページの間に隙間を作ります。ここがチェックされていないと、ページとページの間に隙間を作りません。これにより複数ページを隙間なくプリントすることで長いサイズの横断幕や立て看板を作ることができます。初期設定ではこのオプションはチェックされてます。

[カットマーク]
指定された用紙サイズの大きさにカットマークを付けてプリントします。原稿に余白が有る場合は「かぎ」マークが、余白が無い場合は「水平」マークが付きます。

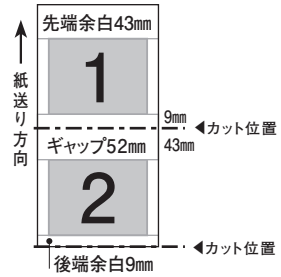
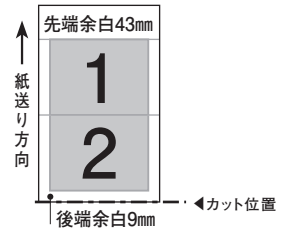
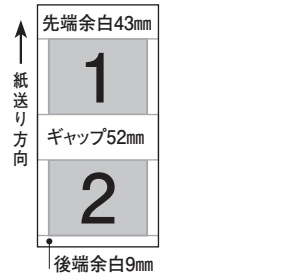
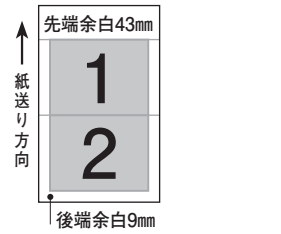
[反転プリント]
白黒を反転してプリントします。

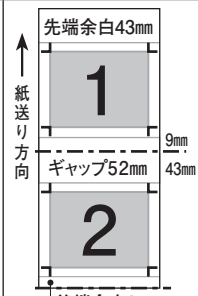
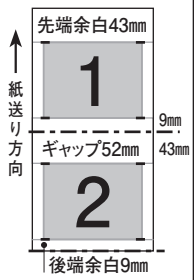
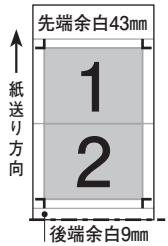
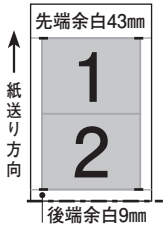
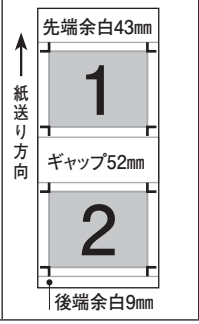
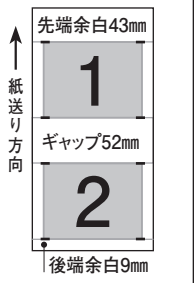
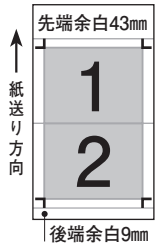
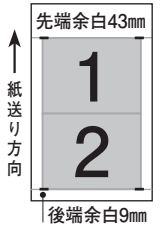
[自動カット]
プリント後、自動的に用紙をカットします。
「ページ間ギャップ」のチェックを外すとカットしません。
初期設定ではこのオプションはチェックされています。

[バージョン情報] ボタン
プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

[標準に戻す] ボタン
初期値に戻します。

■カット位置と紙送りの関係

自動カット	カットマーク	ページ間ギャップ 有り	ページ間ギャップ 無し
有り	無し		
無し			

自動カット	カットマーク	カギ	水 平	カギ	水 平
有り	有り				
無し					

■■■ カット位置　┓┏ カットマーク（カギ）　━ ━ カットマーク（水平）

※プリント領域ならびに余白は、あくまでも理論値上の目安であり保証値ではありません。

☞ヒント
「用紙」画面の「編集」ボタンをクリックします。

■用紙サイズ一覧の編集

用紙一覧への追加や削除、ユーザ定義サイズの編集などを行います。

[記録紙]

変更を加える記録紙のロールサイズを選択します。
ロールサイズ毎に用紙一覧を編集することができます。

[用紙一覧]

用紙プロパティシートで選択可能な用紙の一覧です。
削除や移動したい用紙サイズなどを選択し編集します。

[標準用紙一覧]

用紙一覧に追加することのできる標準的な定型用紙の一覧です。
追加したい用紙を選択し、「<<追加」ボタンをクリックすることで追加を行うことができます。

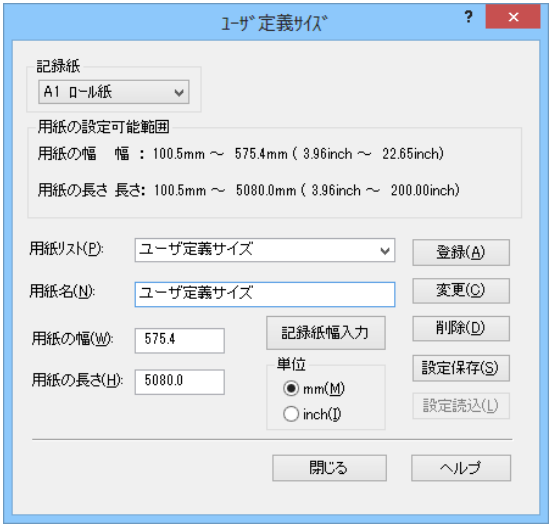
[ユーザ定義サイズ一覧]

用紙一覧に追加することのできるユーザ定義サイズの一覧です。
追加したい用紙を選択し、「<<追加」ボタンをクリックすることで追加を行うことができます。
ユーザ定義サイズの作成は、「ユーザ定義サイズ」ボタンをクリックしてください。

☞ヒント
「用紙サイズ一覧の編集」画面の「ユーザ定義サイズ」ボタンをクリックします。

■ユーザ定義サイズ

ユーザ定義サイズ用紙の登録・変更・削除などを行います。



[記録紙]

ユーザ定義サイズを登録する記録紙のロールサイズを選択します。

ロールサイズ毎にユーザ定義サイズを編集することができます。

[用紙リスト]

登録したユーザ定義サイズ名を表示します。

[用紙名]

登録を行うユーザ定義サイズ名を入力します。

用紙名は、全角16文字(半角32文字)以内で登録してください。

[用紙の幅]

定義する用紙幅を入力します。定義できる数値の範囲は以下の通りです。

915 ロール紙	100.5 ～ 896.0mm（3.96 ～ 35.38 inch）
850 ロール紙	100.5 ～ 831.1mm（3.96 ～ 32.72 inch）
B1 ロール紙	100.5 ～ 709.3mm（3.96 ～ 27.93 inch）
A1 ロール紙	100.5 ～ 575.4mm（3.96 ～ 22.65 inch）
A2 ロール紙	100.5 ～ 401.5mm（3.96 ～ 15.81 inch）

[記録紙幅入力]
「用紙の幅」に現在設定しているロール紙の最大幅を設定します。

[用紙の長さ]
定義する用紙の長さを入力します。定義できる範囲は以下の通りです。
100.5 ～ 5080.0mm（3.96 ～ 200.00inch）

[単位]
入力する際の単位を mm か inch から選択します。

[登録]・[変更]・[削除] ボタン
それぞれ作成したユーザ定義サイズを登録･変更･削除します。

[設定保存] ボタン
登録したユーザ定義サイズの情報をシステムに保存することができます。

[設定読込] ボタン
設定保存によって保存された情報を読み込みます。

☞ヒント
ST-1 プロパティダイアログボックスの「グラフィックス」タブをクリックします。

■グラフィックス

プリントする画像の画質を制御します。

[ディザリング]

プリントのディザリング方式を選択します。
プリントの用途に応じて使い分けてください。
「ドット」は、ディザリングパターンの濃度を高くして、比較的近距離からの見た目を重視してます。
「ダイヤ」は、ディザリングパターンの濃度を低くして、比較的遠距離からの見た目を重視してます。
「誤差拡散」は、ランダムにディザリングパターンを発生します。写真などのドットデータのプリントに適しています。

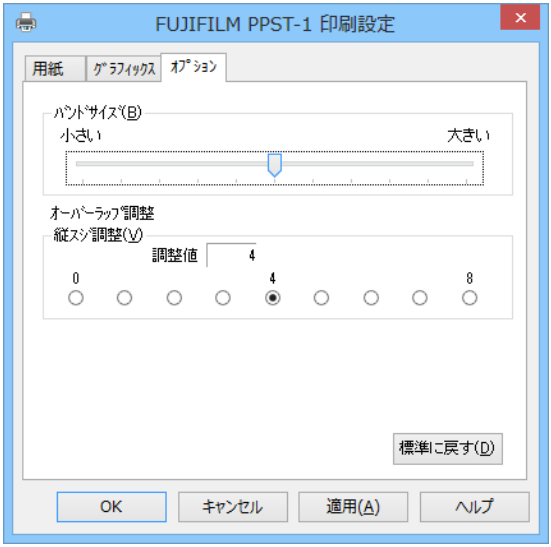
[明暗の補正]

プリント結果の明るさを－ 20 ～ 20 までの 41 段階で調整することができます。
調整値が低いほど暗くなり、高いほど明るくなります。

■オプション

☞ヒント
ST-1 プロパティダイアログボックスの「オプション」タブをクリックします。

プリントヘッドの微調整を行います。



[バンドサイズ]

バンドサイズはパソコンの搭載メモリに応じて最適なプリント速度を自動的に設定する機能です。
スライダを左右に移動することでこの設定を微調整することができます。
プリント速度を優先する場合は、スライダを「大きい」、の方向へ、アプリケーションソフトウェアの動作を優先させる場合は、スライダを「小さい」の方向へ移動してください。

[オーバーラップ調整]

プリント結果にスジが目立つ場合に ST-1 のプリントヘッド間の重なりを調整することができます。

・縦スジ調整

縦のスジ（4 つのヘッド間の隙間）が目立つ場合の調整を 0 ～ 8 までの 9 段階で行います。
初期値は 4 です。
印字部の重なり部分が目立つ場合は、調整値を減らしてください。印字部に隙間が空いてしまう場合は、調整値を増やしてください。

第四章　操作方法

本章では、ST-1 プリンタドライバをより効果的に使っていただくために、ドライバの固有な情報と実際の印字手順をご紹介いたします。
本章の説明では、Windows8 での操作を主に説明し、XP/Vista/7 の操作を補足として記載しています。

■プリンタドライバソフトウェアとは

プリンタドライバとは Windows のアプリケーションソフトウェアで作成したグラフィックやテキストなどの文書情報を、対象となるプリンタ固有の情報に変換して、プリンタに出力するためのソフトウェアです。

■プリンタドライバの特徴

ST-1 は A1 や A0 サイズなど大サイズのプリントのほか、横断幕や垂れ幕などの長尺プリントもその大きな特徴です。
ST-1 プリンタドライバは、これらの特徴をいかしたプリントを一般的な Windows アプリケーションソフトウェアから可能にする工夫が施されています。
本来、A1 や A0、または横断幕を原寸サイズのままアプリケーションソフトウェアで作成してプリントするのがもっとも好ましいのですが、ワードプロセッサーやグラフィックなどの一般的なアプリケーションソフトウェアは、作成できる文書や画像サイズに大きさの制限があるものが多く、そのままではプリントできない場合があります。
ST-1 プリンタドライバは、プリンタドライバ本体が拡大印字機能を持つことで一般的なアプリケーションからの印字を可能にいたしました。プリンタドライバの「用紙」プロパティには、「原稿サイズ」と「用紙サイズ」の 2 種類の用紙が用意されています。
ただし、プリンタドライバでの拡大を行っているために、一部のアプリケーションでは期待通りのプリントができない場合があります。また、この拡大機能を利用すると、原寸印字に比べて若干プリント画質が劣化する場合がございます。

■アプリケーションソフトウェアの選択

プリンタドライバでの拡大機能のため、作成できる文書サイズに制限のあるアプリケーションでも ST-1 プリントは可能になります。例えば、Microsoft Word や一太郎などの一般的なワードプロセッサ、Microsoft Excel などのスプレッドシートでは、A1 や A0 などの定型サイズ（縦横比が一定）に拡大プリントすることは可能です(各アプリケーションのバージョンなど対応が異なる場合があります)。

■ユーザ定義サイズの登録

ST-1 プリンタドライバでは、任意のサイズの用紙サイズを登録することができます。
ユーザ定義サイズをご利用される場合以下の 2 点にご注意ください。

① ユーザ定義サイズの登録は、必ず「デバイスとプリンター」画面（XP の場合は「プリンタと FAX」画面）から ST-1 を選び、右クリックで表示される【印刷設定】から登録してください。アプリケーションソフトウェアのプリンタプロパティから呼び出された ST-1 プリンタドライバのプロパティからでは登録できません。

② ユーザ定義サイズ用紙をご使用になるときは、アプリケーションソフトウェアを起動する前に、「デバイスとプリンター」画面（XP の場合は「プリンタと FAX」画面）から ST-1 プリンタドライバを選び、【プロパティ】の「用紙」タグでご使用になるユーザ定義サイズの「用紙サイズ」および「原稿サイズ」を選んで「適用」ボタンをクリックしておくことをお勧めいたします。
一部のアプリケーションソフトウェアでは、アプリケーション起動後に用紙を定型サイズからユーザ定義サイズに変更することを許可しないものがございますので、ご注意ください。

☞ヒント
「デバイスとプリンター」画面（XP の場合は「プリンタと FAX」画面）の表示については、「第三章 プリンタドライバリファレンス」を参照してください。

1. 定型用紙へのプリント方法

A0 や B1 など定型サイズ用紙を利用する場合の一般的な操作の流れを説明します。

1 **パソコンを立ち上げ、アプリケーションを起動します。**

2 **記録紙（ロール紙）をセットし、ST-1 の電源を入れます。**
必ず、記録紙の種類（感熱紙、転写紙、特殊紙）が表示されていることを確認してください。
→取扱説明書「プリントを行う前に」を参照。

3 **ST-1 を使用プリンタとして選択します。**
アプリケーションに使用するプリンタを ST-1 であることを通知します。これによりアプリケーションは ST-1 プリンタドライバ内の「原稿サイズ」リストを参照できるようになります。ST-1 が「通常使うプリンタに設定」されている場合にはこの操作は省略できます。

4 **プリンタドライバの「プロパティ」で原稿サイズを指定します。**
アプリケーションで使用する予定の書類サイズを ST-1 プリンタドライバのプロパティの「原稿サイズ」で設定します。

5 **アプリケーションの【書類設定】コマンドなどで、作成する書類のサイズを指定します。**
アプリケーションによっては、（第三章）のプリンタドライバ設定のプロパティダイアログでの「原稿サイズ」設定（⇒ P. 55）によりアプリケーションで使用する書類サイズが決定して、本操作が不必要なものもあります。

6 **アプリケーションで書類を作成します。**
通常と同様にアプリケーションで書類を作成してください。

7 **【印刷】コマンドで、アプリケーションのプリントオプションやプリンタドライバの「プロパティ」で各種設定をしてプリントします。**
【印刷】や【プリント】コマンドを選択すると、アプリケーションの持つ各種のプリントオプションを設定できます。また、プリンタドライバの「プロパティ」でプリントするサイズである「用紙サイズ」やその他のオプション（「反転プリント」や「カットマーク」など）も設定できます。

スプールされているプリントを中止する場合：

8 **デスクトップの下方のツールバー右端のプリンタのアイコンをダブルクリックします。**
スプールされているプリントジョブが表示されます。

9 **キャンセルしたいジョブをクリックして、【ドキュメント】メニューの【キャンセル】を選択します。**

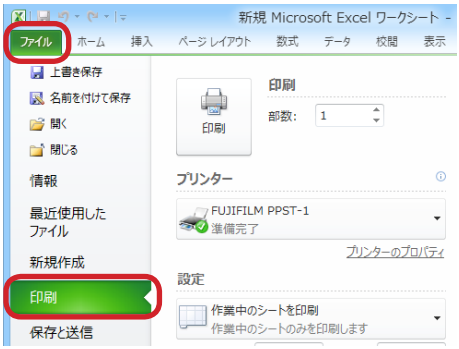
10 **ST-1 がプリント中である場合には、ST-1 本体の「クリア」ボタンを押してキャンセルします。**

ここでは、Microsoft Excel 2010 を例にして操作を説明します。

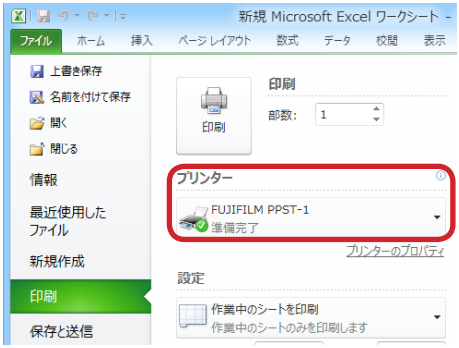
■Microsoft Excel 2010 での操作例

1 Excel 2010 を起動します。

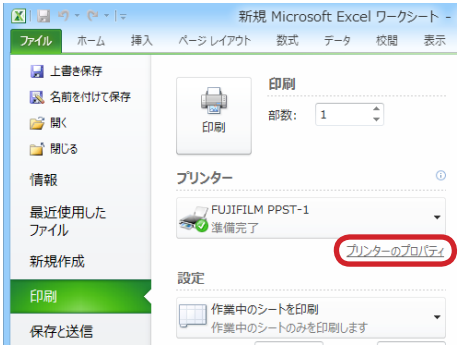
2 【ファイル】－【印刷】の順にクリックします。



3 ST-1 が設定されていることを確認します。ST-1 が選択されていない場合は、ST-1 を選択します。

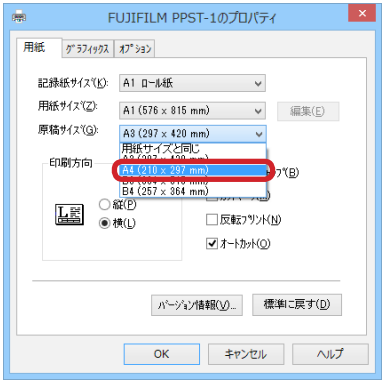


4 「プリンターのプロパティ」をクリックして、ST-1のプロパティを表示します。



ST-1 のプロパティダイアログボックスが表示されます。

5 「用紙」タブを選択して、「原稿サイズ」をＡ４に設定します。

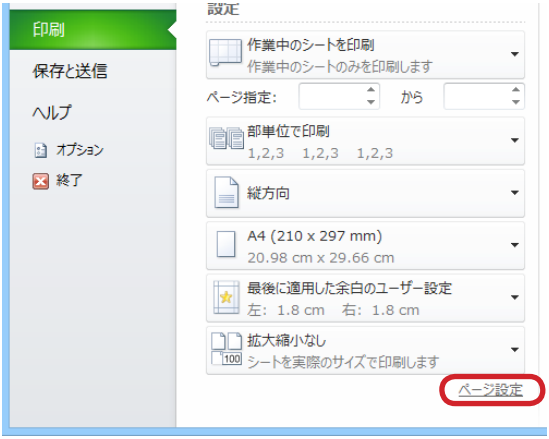


もし、原稿サイズにユーザ定義サイズ用紙しか表示されていない場合には、ST-1 のプロパティダイアログを開き、「用紙」タブを選択後、定型サイズ用紙に変更してください。

→「第三章 プリンタドライバリファレンス」を参照。

6 「OK」ボタンをクリックして、ST-1 プリンタドライバのプロパティ設定を完了します。

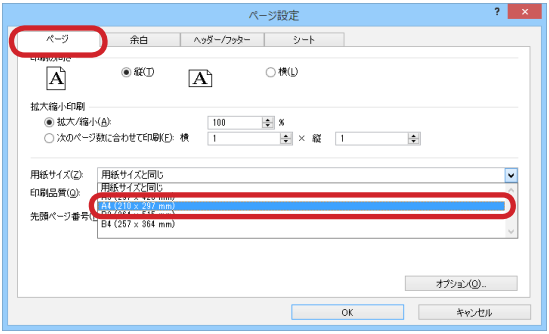
7 「ページ設定」を選択します。



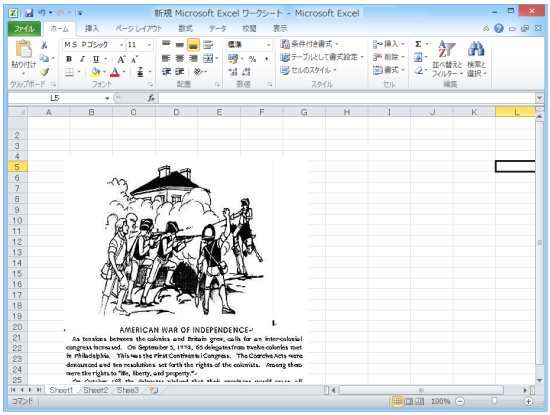
「ページ設定」ダイアログが表示されます。

8 「ページ」タブを選択し、用紙サイズから A4 を選択します。

その他、必要であれば「文字数と行数」や「余白」タブを設定し、「OK」ボタンをクリックします。

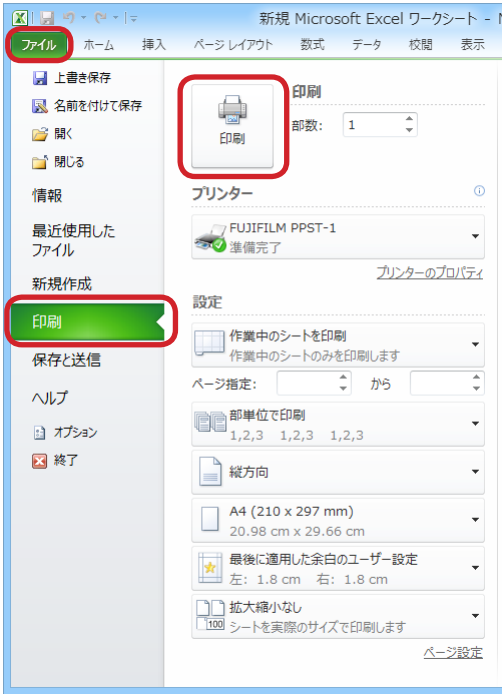


9 文書を作成します。



10 文書作成が完了したら、再度【ファイル】－【印刷】を選択し、「印刷」ボタンをクリックします。

印刷前に、必要に応じて印刷オプションを指定します。



2. ユーザー定義サイズ用紙へのプリント方法

新規に登録したユーザ定義サイズ用紙を利用する場合の一般的な操作の流れは以下のようになります。

1 **パソコンを立ち上げます。**

2 **記録紙（ロール紙）をセットし、ST-1 の電源を入れます。**

3 **必ず、記録紙の種類（感熱紙、転写紙、特殊紙）が表示されていることを確認してください。**

4 **ST-1 のプロパティダイアログを開きます。**
→「第三章 プリンタドライバリファレンス」を参照。

5 **「用紙」タブを選び、ユーザ定義サイズを選びます。**
もし､ユーザ定義サイズ用紙を登録していなかったり、新規にユーザ定義サイズを作成するには「編集」ボタンを押して､ユーザ定義サイズ用紙の定義を行います。

6 **「原稿サイズ」から「(ユーザ定義サイズ用紙名) ／ 5」を選び「OK」をクリックします。**

7 **アプリケーションを起動します。**

8 **ST-1 を使用プリンタとして選択します。**
アプリケーションに使用するプリンタを ST-1 であることを通知します。これによりアプリケーションは ST-1 プリンタドライバ内の「原稿サイズ」リストを参照できるようになります。ST-1 が「通常使うプリンタに設定」されている場合にはこの操作は省略できます。

9 **アプリケーションの【書類設定】コマンドなどで、作成する書類のサイズを指定します。**
アプリケーションによっては、本操作が不必要なものもあります。

10 **アプリケーションで書類を作成します。**
通常と同様にアプリケーションで書類を作成してください。

11 **【印刷】コマンドでアプリケーションのプリントオプションやプリンタドライバの「プロパティ」で各種設定をしてプリントします。**
【印刷】や【プリント】コマンドを選択すると、アプリケーションの持つ各種のプリントオプションを設定できます。また、プリンタドライバの「プロパティ」でオプション（「反転プリント」や「カットマーク」など）も設定できます。

スプールされているプリントを中止する場合：

12 **デスクトップの下方のツールバー右端のプリンタのアイコンをダブルクリックします。**
スプールされているプリントジョブが表示されます。

13 **キャンセルしたいジョブをクリックして、【ドキュメント】メニューの【キャンセル】を選択します。**

14 **ST-1 がプリント中である場合には、ST-1 本体の「クリア」ボタンを押してキャンセルします。**

■Microsoft Excel 2010 での操作例

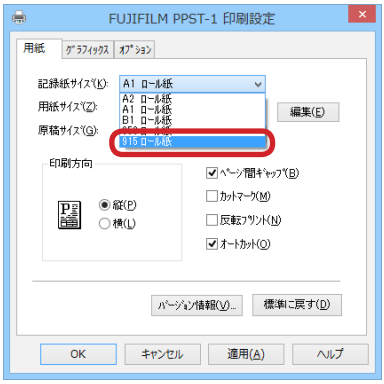
ここでは、Microsoft Excel 2010 を例にして操作を説明します。

☞ヒント
ユーザ定義サイズ用紙を作成します。すでにあるユーザ定義サイズ用紙を使用する場合には手順９以降を行ってください。

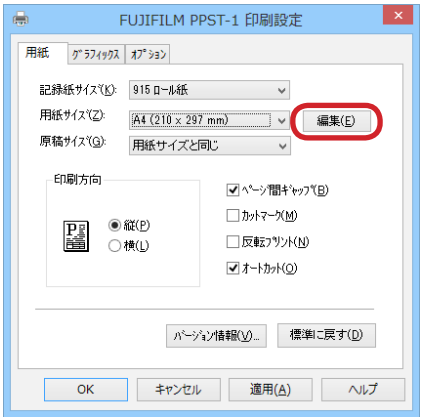
1 **ST-1 のプロパティダイアログを開きます。**
→「第三章 プリンタドライバリファレンス」を参照。

2 **ST-1 のアイコンを右クリックして【印刷設定】を選択します。**
ST-1 のプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 **使用する記録紙サイズを選択します。**

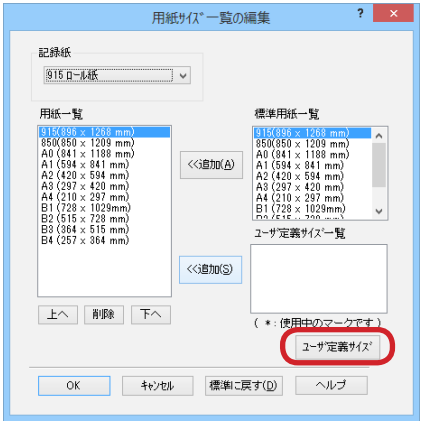


4 「編集」ボタンをクリックします。



「用紙サイズ一覧の編集」ダイアログが表示されます。

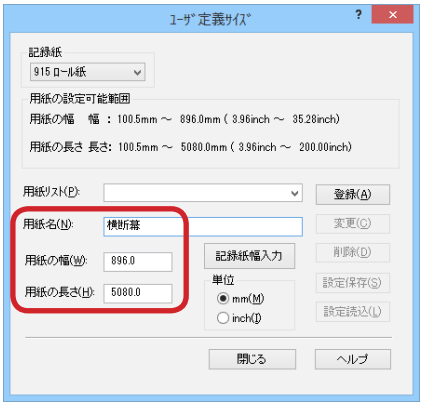
5 「ユーザ定義サイズ」ボタンをクリックします。



「ユーザ定義サイズ」ダイアログが表示されます。

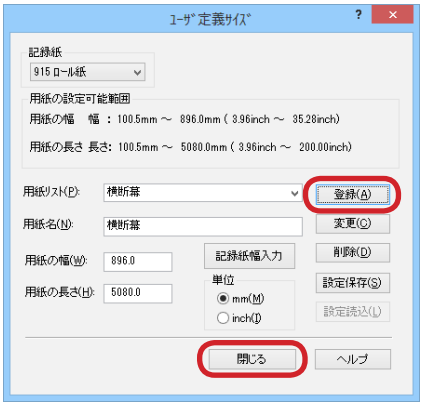
6 「用紙名」に任意の用紙名、用紙の幅および長さを入力します。

なお、各ユーザ定義サイズ用紙はロール紙のサイズ毎に持つことになります。



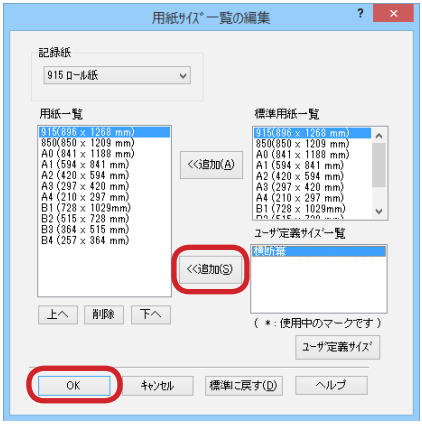
7 「登録」ボタンを押してから、「閉じる」ボタンを押します。

「登録」ボタンを押すと、設定内容が登録されます。



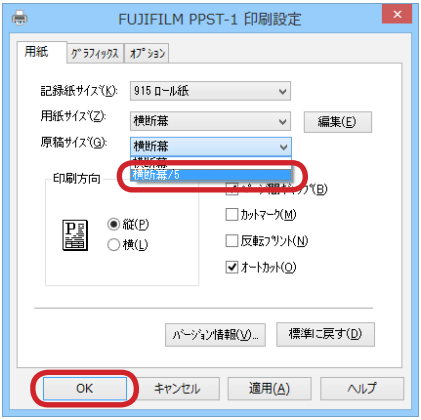
「用紙サイズ一覧の編集」ダイアログに戻ります。

8 「追加」ボタンで用紙サイズ一覧に追加します。「OK」ボタンをクリックするとプロパティの「用紙」タブに戻ります。



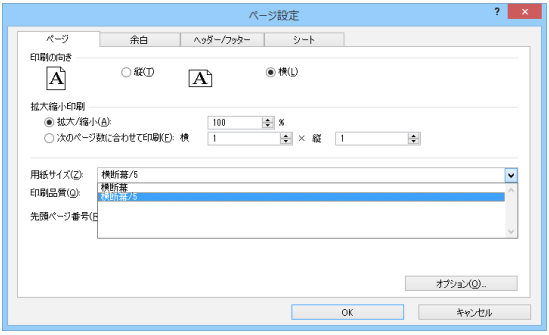
9 「用紙サイズ」から使用したいユーザ定義サイズを選びます。

10 「原稿サイズ」から「(ユーザ定義サイズ名)／5」を選び、「OK」ボタンをクリックします。

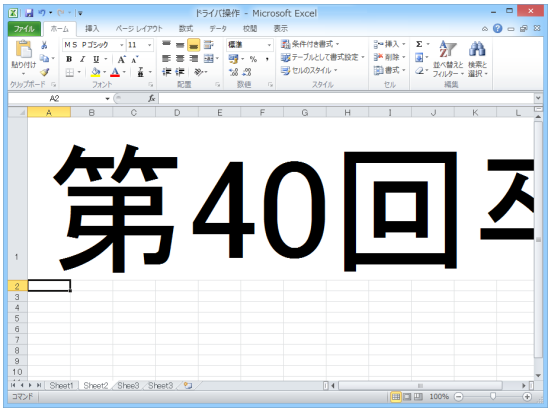


アプリケーションの多くは、扱える書類サイズに制限があります。この例のように 896.0 × 5080.0mm の大きさの用紙をそのまま書類サイズにすることはできません。そのため、本操作のように原稿サイズを 5 分の 1 の大きさ（179.2 × 1016.0mm）にすると、アプリケーションでも扱える書類サイズとなります（扱える原稿サイズは、ご使用のアプリケーションに依存します）。

11 Excel 2010 を起動します。以降の作業は基本的には定型サイズ用紙の場合と同じになります。ただし、「ページ設定」は下図のようにＡ４とかＡ３などの定型サイズ用紙は表示されず、ユーザ定義サイズ用紙名になります。

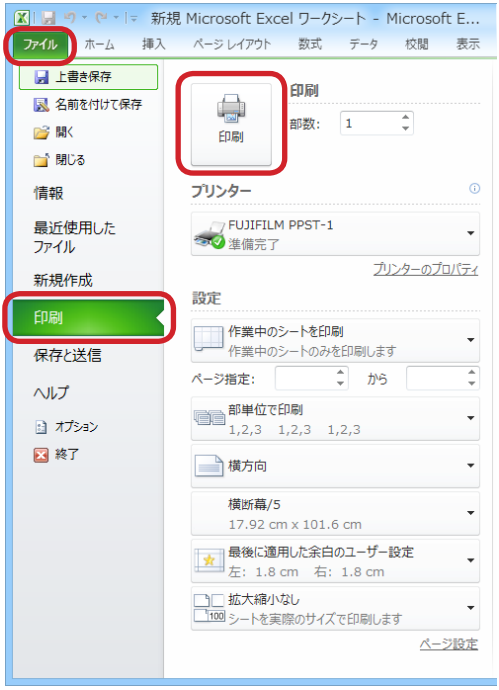


12 文書を作成します。



13 文書作成が完了したら、再度【ファイル】－【印刷】を選択し、「印刷」ボタンをクリックします。

印刷前に、必要に応じて印刷オプションを指定します。



第五章　トラブル

1. プリント中のトラブル

ST-1 操作中のトラブルについては、ST-1 の操作パネルや PC 画面上のメーセージを確認して対処してください。
ST-1 操作パネルのエラーメッセージについては、取扱説明書「こんなときには」を参照してください。

●消耗品ならびに修理等のご用命は、お買い求め頂いたご販売店様へお問い合わせください。

FUJIFILM

富士フイルム ビジネスサプライ株式会社

●本製品についてのお問合せは最寄の拠点へご連絡ください

東 京 本 社／〒 106-0031 東京都港区西麻布 2-26-30（富士フイルム西麻布ビル） TEL 03（5468）1743
大 阪 支 店／〒 541-0051 大阪府大阪市中央区備後町 3-5-11（富士フイルム大阪ビル） TEL 06（6202）2219
名古屋営業所／〒 460-0008 名古屋市中区栄 1-12-17（富士フイルム名古屋ビル） TEL 052（221）8701
福岡営業所／〒 812-0018 福岡市博多区住吉 3-1-1（富士フイルム福岡ビル） TEL 092（271）5811
仙台営業所／〒 983-0862 仙台市宮城野区二十人町 99（富士フイルム仙台ビル） TEL 022（292）3212
札幌営業所／〒 060-0042 札幌市中央区大通西 6-1（富士フイルム札幌ビル） TEL 011（241）9400

富士フイルムビジネスサプライホームページ http://fbs.fujifilm.co.jp

SP0202・FBS-1303